

平成21年度
財団法人JKA補助事業

「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」
実施報告書

財団法人コンピュータ教育開発センター



この事業は競輪の補助金を受けて実施したものです。



はじめに

インターネットやパソコン、携帯電話など ICT が日常生活に欠かせないものとなり、子どもたちも学習や友達とのコミュニケーションなどに頻繁に利用するようになってきている。今後、便利な ICT を積極的に活用し、インターネットやパソコン、携帯電話・PHS（以下「ケータイ」という。）などの特性を踏まえ、積極的・主体的に活用していく子どもたちを育成していくことが望まれる。

一方、インターネット上では、誹謗中傷やいわゆる「ネットいじめ」、青少年を対象とした犯罪や違法・有害情報、いわゆる「ケータイ依存」などの問題が数多く発生しており、これらの問題に適切に対応することができるよう、「情報モラル」について指導することも必要となってきた。

従来、このような「情報モラル」に関する教育は、学校で行われてきた。しかし、児童生徒のインターネット利用実態調査を見てみると、子どもたちがインターネットやパソコン、ケータイ等を利用するのは、家庭や友達の家、通学路などの学校外での使用が圧倒的に多くなっている。このような学校外での ICT 利用を適切なものとするためには、学校で情報モラル教育を行うだけでなく、保護者や地域住民の方々にも「情報モラル」について理解していただき、家庭での約束づくりや地域における「見守る目」づくりなどを行っていただくことが必要である。そのような家庭や地域での「情報モラル教育」の推進を目指したのが、本「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」である。

平成 20 年度に開始された「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」も、平成 21 年度は 2 年目を迎えた。本年度は、昨年度のセミナー実施の成果と課題を受け、各委員のお骨折りにより、テキストを改訂すると共に、家庭や学校で活用できる「リーフレット」も開発した。

また、セミナーの開催場所も、平成 20 年度の 6 カ所だったのに対し、平成 21 年度は 14 カ所と大幅に増加させ、全国各地で保護者や地域住民の方々に「情報モラル教育」の重要性とそのポイントを理解していただき、その実践の輪を広げていただくことができた。

本報告書は、これらの活動の成果と課題及びアンケート調査により明らかになった実態等について、記したものである。今後は、本セミナーの成果により、家庭や地域での「情報モラル教育」がより普及していくことを期待している。

平成 22 年 3 月

「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」検討委員会委員長

鳴門教育大学准教授

藤 村 裕 一

- 目 次 -

1 . 事業概要	P 1
1 . 1 事業の目的	P 1
1 . 2 事業の内容	P 1
1 . 3 事業の経過	P 6
2 . セミナーテキストの改訂	P 8
2 . 1 児童生徒向けテキストの改訂	P 8
2 . 2 保護者向けテキストの改訂	P 9
2 . 3 ネット展開用リーフレットとの連携	P 1 0
3 . ネット展開用リーフレットの開発	P 1 1
3 . 1 コンセプト・特徴	P 1 1
3 . 2 利用方法	P 1 1
4 . セミナーの実施	P 1 3
4 . 1 セミナー実施概要	P 1 3
4 . 2 セミナー開催地一覧	P 1 4
4 . 3 開催地からの報告	P 1 5
5 . アンケート結果分析	P 2 9
5 . 1 小学生対象アンケート	P 2 9
5 . 2 中学生対象アンケート	P 3 4
6 . セミナーを終えての感想と今後の課題	P 4 0
7 . まとめ	P 5 8

< 付 録 >

1 . ネット展開用リーフレット	P 1
・ カラー版リーフレット	
2 . 調査票	P 2
・ 事前調査票	
3 . アンケート質問票	P 3
・ 【 児童・生徒向け 】	
・ 【 保護者向け 】	
・ 【 指導者向け 】	
・ 【 管理者向け 】	
4 . アンケート集計結果	P 7
(1) 全体実績	
(2) 小学校/児童生徒アンケート結果	
(3) 小学校/保護者アンケート結果	
(4) 中学校/児童生徒アンケート結果	
(5) 中学校/保護者アンケート結果	
(6) 小学校校長会セミナーアンケート結果	
5 . 別添 セミナー用テキスト	
・ 【平成 2 1 年度改訂版】親子のためのネット社会の歩き方 保護者用	

1. 事業概要

1.1 事業の目的

IT社会の発展により日常生活が便利になる反面、ハッカーによる被害や出会い系サイトを利用した犯罪などの問題が発生しており、子どもたちが、インターネットや携帯電話の使用により、トラブルに巻き込まれる例がでてきている。そうした中、学校や企業の場合と異なり、家庭では学習の機会が少なく、今後さらにIT社会の発展を図るためには、IT弱者ともいえる子どもと家庭に、ITのメリットを認識してもらうと同時に、被害に遭わないための正しい知識を持ってもらうことが重要となっている。

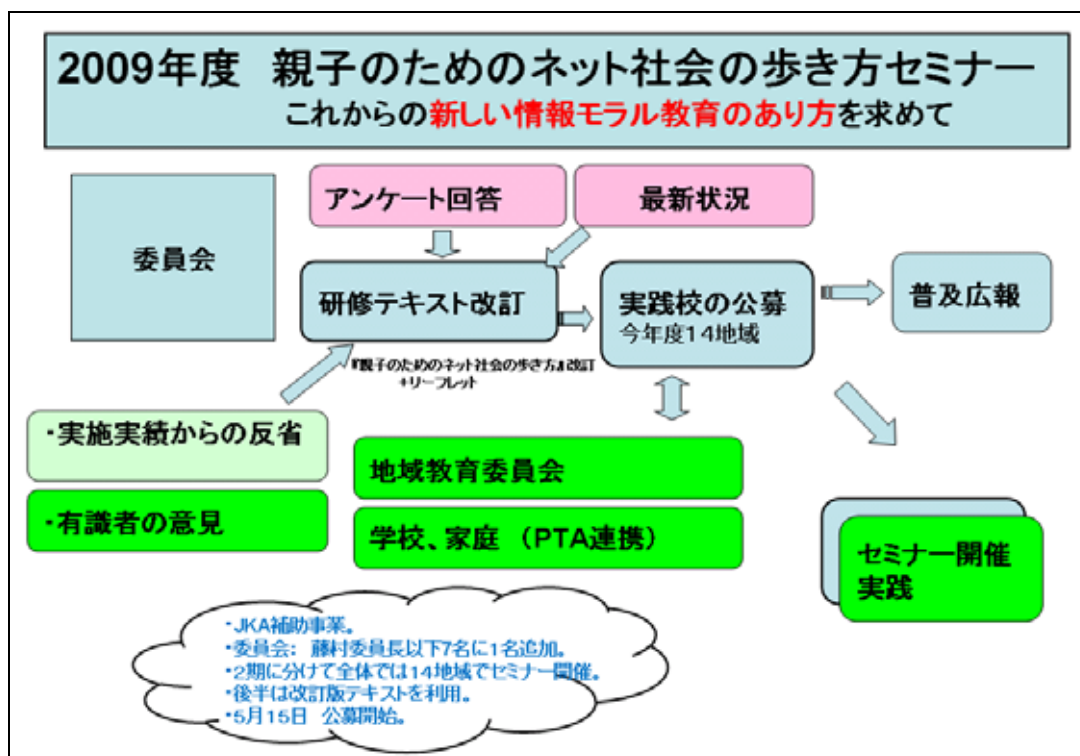
本事業は、子どもたちがIT社会に正しく対応できるようになることを目的として、子どもとその親を対象に情報モラル・セキュリティに関するセミナーを実施するものであり、同時に家庭でのコミュニケーションの題材、学校の先生が保護者と子どもを指導するための一助となる情報を提供するものである。

1.2 事業の内容

昨年に続き有識者からなる委員会を設置し、そこでの意見及び昨年のセミナー実施後に行ったアンケート等を基にテキストを改訂したほか、児童生徒への情報モラル指導や授業で簡易に活用できる「ネット展開用リーフレット」の開発を行った。

また、それらを活用し、全国14カ所で「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」を開催した。

実施概要図



(1) 委員会の設置

本年度より委員を1名増強し、セミナーテキストの改訂、ネット展開用リーフレットの開発検討、開催地の選定、セミナー講師、報告書の執筆、データ分析などを行った。

(全4回開催)

委員名簿

委員長	藤村 裕一	鳴門教育大学
委員	井上 勝	«所属»
	梶本 佳照	«所属»
	佐久間 茂和	«所属»
	高橋 邦夫	千葉学芸高等学校
	坪田 篤子	N T Tコミュニケーションズ株式会社
	西田 光昭	柏市立田中小学校
	三宅 健次	千葉大学教育学部附属中学校

(2) テキスト改訂

これまでの情報モラル教育の研究から、「日常モラルとの関連づけ」と「長期的な人間教育としての情報モラル教育」が必要なことがわかっている。また、危機管理の研究からは、必要最小限の「緊急対策」を即座に実施することの有効性も明らかになっている。そこで、テキスト改訂に当たっては、これらの成果を受けて、緊急対策(Urgent action) - 応用力(Adaptability) 育成 - 長期的人間教育(Long span human education)の統合指導法(UAL method^注)を採用した。

緊急対策は児童生徒と保護者の両方で、応用力育成は児童生徒を中心に、長期的人間教育は保護者を中心に扱った。

子どもたちが影の部分に出会うのは、フィルタリングで守られている学校ではなく、学校の行き帰りや、家庭、友達の家など、学校外であることがわかっている。このような学校外での子どもたちの様子に目配りできるのは、保護者や地域住民などの大人たちである。

保護者の方たちも、インターネット上の事件・事故の報道を耳にしてはいるものの、「まさか、自分の子どもが...」「携帯電話は緊急連絡用の音声通話ツール」だからと安心している場合や、「危険があることはわかっているけれど、具体的にどうすれば良いのかわからない」と対応したくても対応できない場合があることが平成20年度のアンケート結果から分かった。

また、有識者から「多くの具体的課題が網羅されているが文部科学省のモデルカリキュラムの事例を取り上げる必要がある。」あるいは「よりよいコミュニケーション(ネット社会における歩き方)をするための前向きな提案も取り上げたい。」とのご意見があったので、その点も考慮し、改訂を実施することとした。

注 リスクマネジメントにおける『統合指導法』

(3) 開催地の募集

主として小学校高学年と中学生を対象に原則保護者の参加を前提として、以下の要領で募集を行った。

また参加者は、一つの学校の児童生徒とその保護者・教員に限らず、会場近郊の複数の学校から参加することも可とし、セミナーに含める内容については開催校からの希望も聞くことにした。

・開催期間と開催力所数

第1期開催期間：平成21年 7月～平成21年 9月 5力所

第2期開催期間：平成21年10月～平成21年11月 10力所

・セミナー対象受講者

児童生徒、保護者、教員、教育関係者

・公募対象

- ・教育委員会
- ・学校
- ・保護者会 ・PTA連合
- ・地域の教育関連団体

・公募期間

平成21年5月15日(金)～平成21年6月19日(金)：第1期分

平成21年5月15日(金)～平成21年8月12日(水)：第2期分

児童生徒向けに授業形態で実施した後、保護者向けにワークショップあるいはパソコンを使ったネットパトロールなどを体験していただくことを前提に、以下のモデル形態を提示したほか、児童生徒、保護者同時の開催による講演会方式なども対象とした。

セミナー形態	開催時間の目安		参加人数の目安	
	児童生徒向け	保護者向け	児童生徒向け	保護者向け
1.授業	1H以下	-	40名程度	-
2.講演	1H以下	1H～1.5H	100名以上	100名以上
3.ワークショップ	1.5H～2H	1.5H～2H	100名程度	100名程度
4.PC操作含む実習	1H～1.5H	1H～1.5H	40名程度	40名程度
5.その他				

採択された開催地及び講師一覧

	開催地	学校 種別	申込 種別	開催日	講師
1	米子市立 福米西小学校	小学校	学校	平成21年8月19日(水) 14:00～17:00	藤村委員長
2	熊谷市立 熊谷西小学校	小学校	学校	平成21年10月29日(木) 13:20～15:15	坪田委員
3	千葉市立 花見川第二小学校	小学校	学校	平成21年11月 7日(土) 13:45～15:45	井上委員
4	和歌山市立 宮小学校	小学校	学校	平成21年11月 15日(日) 8:50～11:50	坪田委員
5	一宮市立 南部中学校	中学校	学校	平成21年11月 15日(日) 11:55～12:45	西田委員
6	上越市立 国府小学校	小学校	教育委員会	平成21年11月 20日(金) 11:00～12:00	藤村委員長 梶本委員
7	上越市立 直江津中学校	中学校	教育委員会	平成21年11月 20日(金) 14:00～15:30	藤村委員長 梶本委員
8	上越市教育委員会	その他	教育委員会	平成21年11月 21日(土) 10:00～12:00	藤村委員長 梶本委員
9	つくば市立 谷田部東中学校	中学校	学校	平成21年11月 21日(土) 10:40～11:30	西田委員
10	和歌山市立 宮前小学校	小学校	学校	平成21年11月 26日(木) 14:35～16:10	三宅委員
11	阿蘇市立 坂梨小学校	小学校	学校	平成21年12月 4日(金) 13:00～15:00	佐久間委員
12	豊田市立 足助中学校	中学校	学校	平成21年12月 12日(土) 10:30～11:30	三宅委員
13	和歌山市立 教育研究所	その他	教育委員会	平成22年1月 19日(火) 13:30～15:00	藤村委員長
14	十和田市立 北園小学校	小学校	学校	平成22年1月 21日(木) 14:40～16:45	藤村委員長

(４) 事前調査票による開催地の状況把握（事前アンケート）

内容の充実を図り、セミナーを円滑に進めるため、インターネットの利用率、携帯電話の保有率、携帯電話におけるフィルタリングの設定率などを事前に大まかに把握し、セミナーに反映させた。

本セミナー申込みのきっかけとなった動機、（あれば）出来事をご記入ください。

（回答例）

- ・教育研究所の研修に参加し、このようなセミナーがあることを聞いて応募した。
- ・県の教育委員会から本セミナーの話を聞き、専門家のお話を聞きたいと思った。
- ・子ども達の間で携帯電話やインターネットによるメールでの悪口やプロフの嫌がらせがあったため、対応を検討するためネットで調べていたらこのセミナーの存在を知って応募した。
- ・昨年実施した学校の先生の紹介。
 - ・講師の講演会を聞きに行き、児童生徒や保護者に対しセミナーを実施していることを聞き応募した。

今回セミナーを受講される児童・生徒の家庭でのインターネット利用率はおおよそどれくらいでしょうか。

平均は６７．８％となっておりアンケート調査とほぼ同様の結果であった。

今回セミナーを受講される児童・生徒の携帯電話の保有率はおおよそどれくらいでしょうか。

平均２５％でアンケート結果での約２５．５％とほぼ同様の結果であった。

携帯電話保有者のフィルタリング設定率はおおよそどれくらいでしょうか。

平均２４．５％。アンケートの回答ではフィルタリングを設定していると回答した保護者は約６０％であったことから学校の認識と開きがあった。

< 付録２．調査票 参照 >

(５) 開催地アンケートの実施（事後アンケート）

- ・アンケートは今後インターネットや携帯電話がさらに普及した時の参考となるよう、ＩＴ活用の安全・安心についての子どもたちの現状の把握、保護者の考え方などを調査することとした。
- ・セミナーに合わせて指導者向け、管理職向けについても作成した。

< 付録３．アンケート質問票 参照 >

1.3 事業の経過

平成21年

- | | |
|--------|---|
| 4月 6日 | 「21年度 親子のためのネット社会の歩き方セミナー」
検討委員会設置・有識者への委員委嘱 |
| 4月20日 | 第1回検討委員会開催
21年度事業計画 スケジュール 対応項目の検討と確認 |
| 5月15日 | 親子のためのネット社会の歩き方セミナー開催地公募開始 |
| 6月25日 | 第2回検討委員会開催
改訂版テキスト原稿、ネット展開用リーフレット原稿の精査
アンケート項目の検討
応募状況の確認 開催校の採択（第1期） |
| 7月 2日 | 親子のためのネット社会の歩き方セミナー開催地採択結果通知（第1期） |
| 8月 6日 | セミナー講師の選任（第1期） |
| 8月18日 | 第3回検討委員会開催
改訂版テキスト、ネット展開用リーフレット（カラー・モノクロ）原稿
の確認。
応募状況の確認 開催校の採択（第2期） |
| 8月19日 | 米子市立福米西小学校セミナー開催 |
| 8月26日 | 親子のためのネット社会の歩き方セミナー開催地採択結果通知
（第2期、第1回） |
| 8月28日 | ネット展開用リーフレット掲載開始 |
| 9月 2日 | セミナー講師の選任（第2期、第1回） |
| 10月21日 | 親子のためのネット社会の歩き方セミナー開催地採択結果通知
（第2期、第2回）
セミナー講師の選任（第2期、第2回）
「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」改訂版テキスト完成 |
| 10月29日 | 熊谷市立熊谷西小学校セミナー開催 |
| 11月 7日 | 千葉市立花見川第二小学校セミナー開催 |
| 11月15日 | 和歌山市立宮小学校セミナー開催
一宮市立南部中学校セミナー開催 |
| 11月20日 | 上越市立国府小学校セミナー開催
上越市立直江津中学校セミナー開催 |
| 11月21日 | 上越市教育委員会セミナー開催
つくば市立谷田部東中学校 |
| 11月26日 | 和歌山市立宮前小学校セミナー開催 |
| 12月 4日 | 阿蘇市立坂梨小学校セミナー開催 |
| 12月12日 | 豊田市立足助中学校セミナー開催 |

平成 2 2 年

1 月 1 9 日	和歌山市立教育研究所セミナー開催
1 月 2 1 日	十和田市立北園小学校セミナー開催
3 月 1 日	第 4 回検討委員会開催 報告書作成の検討、来年度に向けての意見交換
3 月 3 1 日	報告書完成

2. セミナーテキストの改訂

昨年度の反省も踏まえ、セミナーにおいてテキストを十分活用できるよう、一部に改訂を加えることにし、第1回 検討委員会において改訂内容を以下のとおりとした。

- ・少ない事例から考えを発展させ、多くの事例に応用できる力を養うようにする。
- ・テキストは講演の内容とリンクするようにする。
- ・保護者用のテキストは児童生徒向けテキストとの関連がわかるように工夫する。
- ・保護者の頁にネット社会の特性を追加する。
- ・保護者の項には知っておいて欲しい法的な裏付けを入れる。
- ・理解を得やすいよう、事例をグラフや表で表すようにする。
- ・長く使えるように年度限定のデータは入れないようにする。
- ・「こうしていこうよ、子どもにこう伝えようよ」といった明るい面を前面に出していく。
- ・保護者に、このテキストの意図が伝わるような話を盛り込む。
- ・基本的な構成は変更せず、オリジナリティを生かす。
- ・改訂は最大でも昨年版テキストの50%程度とする。

2.1 児童生徒向けテキストの改訂

学校では、情報モラル教育の時間を授業として数多く特設するのは困難な状況にある。そこで限られた時間で少ない事例しか扱えなくても、他の数多くの事例に応用できる知識・思考力・判断力を培うために児童生徒向けテキストでは、中心事例→関連するその他の事例→判断に必要な知識・見方や考え方のポイントを組み合わせ構成した。

また、授業時間内で全事例を取り扱えなくても、空き時間や帰宅後などに自主的に読んでもらえるよう、マンガを交えたビジュアルな構成とした。なお、本年度は取り上げるべき事例を見直し、急速に変化するネット社会の現状にあった内容に改訂。「少ない事例から考えを発展させ、多くの事例に応用できる知識・思考力・判断力を養う」という基本方針を踏襲しながら、外部からのご意見やセミナーのアンケート結果も盛り込んだ。

たとえば、

- ・「プロフやSNS、コミュニティサイト」の事例
- ・「フィッシング詐欺」の事例
- ・「フィッシング110番（警察庁）」の情報（URL）
- ・USBメモリからのウィルス感染事例など、詳細情報を追加した。



子ども用テキスト

<http://www.cec.or.jp/CEC/>

また、児童生徒向け／保護者向けテキスト共通の改訂内容としては、以下の2点があげられる。

- ・セミナー受講時に鉛筆などでメモを書き込みやすい紙質に変更
- ・冊子全体の色味を軽くし、目にやさしい印象を与える内容に変更

2.2 保護者向けテキストの改訂

保護者向けのテキストには、児童生徒用テキストも合本とし、家庭に帰ってから、セミナーをきっかけとして、情報モラルに関してテキストをもとに会話ができるように配慮した。さらには、「そもそも『いじめっ子』『いじめられっ子』にしないためにはどのように子育てしたらよいのか」も取り扱うようにした。

また、保護者からは、「具体的にどのようにしていいのかわからない」という声をよく聞くため、家庭でのフィルタリングの設定の仕方、事故時の対応手順や相談先・通報先などの連絡先を、できるだけ具体的に記述した。本年度は、最新の情報に更新するとともに、さらに充実した内容をめざして掲載情報を全面刷新。全体的に「明るいネット社会」を打ち出し、「望ましいネット社会を作っていく」というスタンスでまとめた。

全体構成の改訂ポイントは以下のとおり。内容の重複を避け、情報を整理した。

- ・「トラブルに巻き込まれないための緊急対策」と「トラブルに巻き込まれた後の対処法」を明確に区別して記載
- ・「ネット社会は、こんな社会」の項目を新設
- ・最終ページ「ネット社会を生き抜く子どもを育てる」に、「情報モラル指導のポイント」と「子育てのポイント」をまとめて記載

また、各ページの主な改訂内容は以下のとおりである。

- < P.22～23 > 子どもの携帯電話の利用に関する調査結果（文部科学省）を基に、子どもの実態をグラフで効果的に説明
- < P.24～25 > 緊急対策として迷惑メール対策情報、ブラウザのコンテンツアドバイザー機能に関する情報を追加、フィルタリングは解除しないことを強調



保護者用テキスト

<http://www.cec.or.jp/CEC/>

- < P.26～27 > 「ネット社会とは」をさらに掘り下げ、非対面性、匿名性、即時性／広域性という主な特性について解説、「ネット社会は光と影が表裏一体」をイラストでわかりやすく表現
- < P.28～29 > 取り上げるトラブル事例の数を増やし（被害者側／加害者側の両方を含む）、具体的な対処法を記載、「保護者も一緒になって守り解決していくこと」という基本姿勢を強調
- < P.30～31 > 「子育てのポイント」のイラストに手を加え、家庭を基盤として社会（実社会／ネット社会）を生き抜く力が養成されることを表現、家庭教育の大切さを強調
- < 全体を通して > 相談窓口／URL の記載内容を更新

2.3 ネット展開用リーフレットとの連携

昨年実施してみてある程度ノウハウの蓄積ができたが、われわれが行える数には限りがある。

そのため、今後は学校が独自でこのようなセミナーの実施ができるようなセミナー教材を提供していく必要があると考え、まず初めに自己学習も可能なネット展開用リーフレットに着手した。

情報モラル授業の導入媒体として作成したネット展開用リーフレット（後述）には、児童生徒向けテキストの参照ページ数を記載。さらに、PDF 上でリーフレットの参照アイコンをクリックすると、CEC サイト内にアップした児童生徒向けテキスト（PDF）の該当ページが表示されるようにリンクを設定。リーフレットからテキストへの誘導を図った。

リーフレット、テキストといった切り口の異なるコンテンツを作成することで、授業やセミナー、個人での利用など、さまざまな状況に柔軟に対応できる教材をめざした。

3．ネット展開用リーフレットの開発

3．1 コンセプト・特徴

携帯電話の普及に伴い、ネット社会における携帯電話の問題点がクローズアップされるようになってきた。そのため、携帯電話の問題点を扱ったWeb教材も開発され、充実してきた。しかし、携帯電話の問題点が多岐にわたるため、それらを効率よく網羅的にまとめられた教材はまだ少ないといえる。

そこで、本セミナー検討委員会ではこの携帯電話の問題点を効率よく網羅的に扱える教材の開発を行うこととした。その際、以下の点を教材開発のコンセプトとした。

- ・本セミナーや授業等の導入として扱えるものとする。時間として10分程度。
- ・ネット上にリーフレット形式で展開できるものとする。
- ・興味を持ちながら学べるように、自分で選択肢を選んでストーリーを作り上げていくゲーム形式にしていく。
- ・リーフレットは表裏の2枚構成にし、表面では具体的なトラブル場면을盛り込んだストーリーを展開させ、裏面では選んだ選択肢により、それぞれの結末の解説をしていく。
- ・ネット上の利用だけではなく、印刷媒体としても配布できるようにする。
- ・利用者のターゲットは主に小学校の高学年から中学生とする。

これらのコンセプトのもと、子ども達に主体的に学んでもらうため、「そのとき、キミならどうする!？」という自分で考えることを促すタイトルとした。また、「カキコ」などのように、普段できるだけ子ども達の間で使われている言葉を使い、より子どもの視点で読み進められるようにした。

3．2 利用方法

リーフレットの表面では、携帯電話を所有したらまず何をするかを想定し、スタートの入口を「メール」「ゲーム」「プロフ」と3つ設けた。このようにして、子ども達は自分の興味関心のあるところからスタートできるようにした。

また、進めていく際、主人公を自分に置き換え、それぞれ場面ごとに2, 3の選択肢の中から選びストーリーを展開していくようにした。そしてストーリーの最後に「A-1」へなどの指示があり、裏面へといく。

それぞれの場面の中で、「親子のネット社会の歩き方セミナー」のテキストに掲載されている問題事例と関わりのあるところでは、ページ数のふってあるアイコンをクリックすることによって、テキストに掲載されている関連力所を表示できるようにした。

また、Webサイト上の「ネット社会の歩き方」にある教材と関連のある場面では、関連キーワードをクリックすることによって、「ネット社会の歩き方」にある関連力所を表示できるようにした。

リーフレットの裏面では、それぞれのストーリーの結末を「ケータイ依存」「コミュニケーション」「責任とマナー」「ネット被害」の4つのカテゴリに分け、さらにそれぞれ良い選択ができ

たかを「グッドチョイス」と「バッドチョイス」とに分け、解説を加えた。解説は親しみやすい子どもレベルの口語調にした。また、高学年の小学生が読んでもわかるような平易な表現に心がけた。

ストーリー展開は携帯電話を所有したところから始まっているが、既に所有している場合でも十分に扱える内容となっている。

10分程度で終わるので、時間があれば裏面の解説を全て読ませることにより、携帯電話の問題点の大枠がつかめるようになっている。

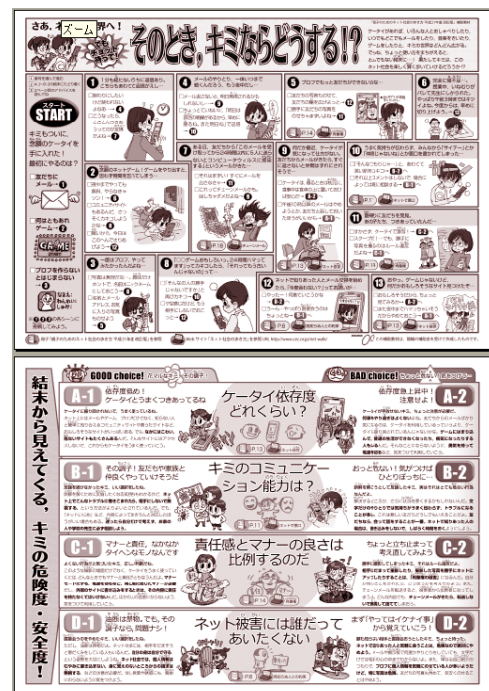
また、このリーフレットは印刷媒体としても利用できるようにするため、カラーバージョン、白黒バージョンの2種類作成し、Web サイトからダウンロードできるようにした。ちなみに子ども達全員に配布するには白黒バージョンが適している。

学校で印刷して使用することを想定し、2種類作成した。 <http://www.cec.or.jp/CEC/>

カラー版リーフレット



白黒版 印刷用リーフレット



< 付録1 . ネット展開用リーフレット 参照 >

4 . セミナーの実施

教育委員会等を含む小学校及び中学校からの申込みがあり、開催日が決定したところから順次講師の人選を行い、最終的に 14 カ所で実施した。

なお、当初 15 カ所で開催予定であったが新型インフルエンザの流行と重なったため、1 校「学校閉鎖による授業時間の減少を解消するため、セミナーを中止し授業に充てたい」との申し出があり、最終的に 14 カ所での開催となった。

また、情報モラル指導の普及及び自立展開を考慮し、学校現場だけではなく教育委員会主催の地域で行った指導者向けのセミナーや、校長会での管理職向けセミナーも採択し実施した。

4 . 1 セミナー実施概要

テーマ

「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」

開催時期と時間

- ・ 開催日：平成 21 年 8 月 19 日（水） ～ 平成 22 年 1 月 21 日（木）
- ・ 開催時間：50 分 ～ 3 時間

参加者

- ・ 児童生徒：1 会場 約 20 名～430 名、
- ・ 保護者：1 会場 約 20 名～80 名
- ・ 教職員：1 会場 約 5 名～38 名
- ・ その他 教育委員会関係者、報道関係者数名

開催会場

開催校（体育館、コンピュータールーム、音楽教室、多目的室、総合学習室、交流室 等）
市民会館講堂、会議室

4.2 セミナー開催地一覧

種別	No	開催校	申請者	形態			参加者				
							児童生徒	保護者	教職員	教育委員会等	その他
小学校	1	米子市立福米西小学校	学校	児童向け	授業	P C 実習含む	○	○	○		
				保護者向け	講演	ワークショップ 含む					
	2	熊谷市立熊谷西小学校	学校	児童向け	授業		○	○	○		
				保護者向け	講演	ワークショップ 含む					
	3	千葉市立花見川第二小学校	学校	児童向け	授業		○	○	○		
				保護者向け	講演						
	4	和歌山市立宮小学校	学校	児童向け	講演		○	○	○		
				保護者向け	講演						
中学校	5	上越市立国府小学校	教育委員会	児童向け	授業		○	○	○	○	○
				保護者向け	講演						
	6	和歌山市立宮前小学校	学校	児童向け	授業		○	○	○	○	
				保護者向け	講演						
	7	阿蘇市立坂梨小学校	学校	児童向け	授業		○	○	○		
				保護者向け	講演						
	8	十和田市立北園小学校	学校	児童向け	授業		○	○	○		
				保護者向け	講演						
教育委員会等	9	一宮市立南部中学校	学校	親子同時開催	講演		○	○	○		
	10	上越市立直江津中学校	教育委員会	生徒向け	講演		○	○	○	○	○
				保護者向け	講演						
教育委員会等	11	つくば市立谷田部東中学校	学校	親子同時開催	講演		○	○	○		
	12	豊田市立足助中学校	学校	親子同時開催	講演		○	○	○		
教育委員会等	13	上越市教育委員会	教育委員会	指導者向け	講演	P C 実習含む		○	○	○	○
教育委員会等	14	和歌山市立教育研究所	教育研究所	管理者向け	講演				○	○	

4.3 開催地からの報告

(1) 鳥取県

開催校	米子市立福米西小学校
開催日時	平成21年8月19日(水) 14:00～17:00
セミナー会場	児童向けセミナー：パソコンルーム 保護者向けセミナー：体育館
受講者数	児童：39名 保護者：26名 教職員：38名
セミナー形態	児童向けセミナー：PC操作含む実習 保護者向けセミナー：ワークショップ
アンケート回収数	児童：37 保護者：50
開催地の感想	< 児童向けセミナー > 子どもたちが実際にパソコンを使って、電子掲示板を体験できたことがよかった。ネット上では、相手の顔が直接見えないために、コミュニケーションが上手くできないことがあることや、相手の名前を使ってなりすましをして相手を傷つけたり、困らせたりすることがあることを体験することができたと思う。インターネットは、掲示板の書き込みが殺人事件や誘拐事件につながることを、実際の事件があった書き込みを見せていただき、子どもたちは肝に銘じたと思う。インターネットの向こう側には人があることを教えていただきネット上では、自分が被害者にも、加害者にもなることを身を持って体験できたと思う。 < 保護者向けセミナー > 事前に準備をしていただいて本物のインターネット上のプロフを実際に見ることができてたいへん良かった。子どもたちがネット上で自分の情報を大胆に出していることがよく分かった。また、ネット上の情報がもとでいろいろな事件が起こり、子どもたちが巻き込まれている事例をあげながら話をしていただき、話の内容がよく分かり、今後の指導の参考になった。ワークショップを交えながら参加者同士が交流しながら進めていただいたので、自分たちが聞いてみたい質問をすることもできた。実際に講師の家庭での取り組みも話していただき、たいへん実のあるセミナーでした。「ケイタイ・インターネット」は、危ないから使わせないのではなく、正しい使い方をして安心して安全に使えるように家庭でフィルタリングしたり、使い方のルールづくりをしたりするなど保護者啓発ができて大変よかった。
セミナー風景	 

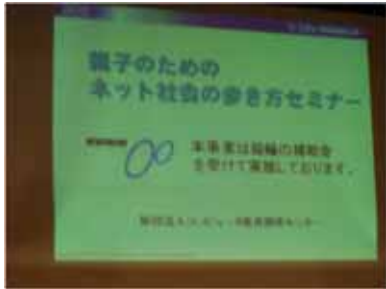
(2) 埼玉県

開催校	熊谷市立熊谷西小学校
開催日時	平成21年10月29日(木) 13:20～15:15
セミナー会場	児童向けセミナー：体育館 保護者向けセミナー：コンピュータ室
受講者数	児童120名 保護者70名
セミナー形態	児童セミナー：講演 保護者向けセミナー：講義と参加者の話し合い
アンケート回収数	児童：108 保護者：56
開催地の感想	< 児童向けセミナー（保護者同席）> テキストに沿った講演で、テキストで確認することで、ネット社会の良さや注意点を理解することができた。 テキストはイラストが入っていて、とても興味深く読むことができた。家庭に持ち帰ってももう一度読み返したくなる作り方だった。 講演の途中で、参加者に質問をしたりして、講演の時間がとても短く感じられた。 パワーポイントを使うことで、特にネット社会の恐ろしさの部分を実感することができた。 とても身近なテーマだったので、児童はとてもまじめに講演を聴いていた。 < 保護者向けセミナー > テキストで保護者が注意することが、わかりやすく説明してあった。 個々のパソコンの画面を見ながらの講義だったので、体育館よりもパワーポイントの書いてある内容が見やすかった。 講義の最後に保護者同士の話し合いは、子どもの携帯電話やインターネットの上手な使い方の情報交換をするよい機会となった。
セミナー風景	 

(3) 千葉県

開催校	千葉市立花見川第二小学校
開催日時	平成21年11月7日(土) 13:45～15:45
セミナー会場	児童向けセミナー：体育館 保護者向けセミナー：コンピュータ室
受講者数	児童：66名 保護者：38名 教職員：20名
セミナー形態	児童向けセミナー：授業 保護者向けセミナー：講演
アンケート回収数	児童：63 保護者：33
開催地の感想	< 児童向けセミナー > 講師の先生のお話、解説がていねいで、とてもわかりやすかった。特に児童に対しての言葉に配慮されていた。 携帯電話(ケータイ)はコンピュータに通話機能やメール機能が付いたものであるという“コンピュータとしての認識”はとても印象的であった。 小学生にケータイを買い与えるという行為を親が子に貸し与えるという認識も一つの工夫である、という考え方に共感する保護者が多くいた。 授業及び講演の内容構成について、短時間の中で効果的に進められていた。 < 保護者向けセミナー > 保護者対象の講演については、プロフや出会い系サイトの画面が実際にどんなものなのか、多く提示されるとよいと思う。また実際に危険のない範囲で保護者に自分の携帯電話からアクセスさせてみる実技もよいのではないかと思う。 子どもも親も有意義な時間を過ごせたと思う。今後実践力として身につけてもらえると嬉しい。
セミナー風景	 

(4) 和歌山県

開催校	和歌山市立宮小学校
開催日時	平成21年11月15日(日) 8:50~11:50
セミナー会場	児童向けセミナー：体育館 保護者向けセミナー：体育館
受講者数	児童：155名 保護者：60名
セミナー形態	児童向けセミナー：講演 保護者向けセミナー：講演
アンケート回収数	児童：122 保護者：41
開催地の感想	< 児童向けセミナー > 大変緻密で、計画的に準備された講演会でした。 講義の会場が教室でなく、体育館で、しかも155人もの大集団の中であつたために、講演しにくかつたと思います。これが一つの教室で、30人の人数で受講できたら、充実した講演内容だったので、もっと子どもたちの心に響いたと思います。 今後は、授業の中で実施していきたい。 資料は見やすく、パワーポイントも分かりやすかつたです。 < 保護者向けセミナー > 保護者へのお話では、講師先生自らが6年生の保護者であることがいっそう共感を与え、ともに親として考えましょう、という姿勢で語りかけていただきよかつたです。 講師先生のお人柄がよく伝わってまいりました。
セミナー風景	 

(5) 愛知県

開催校	一宮市立南部中学校
開催日時	平成 2 1 年 1 1 月 1 5 日 (日) 1 1 : 5 5 ~ 1 2 : 4 5
セミナー会場	生徒向けセミナー：屋内運動場 保護者向けセミナー：屋内運動場
受講者数	生徒：2 8 0 名 保護者：8 0 名 教員：2 0 名
セミナー形態	生徒向けセミナー：講演 保護者向けセミナー：講演
アンケート回収数	生徒：2 8 1 保護者：6 0
開催地の感想	< 生徒向けセミナー > 良かった点 ・内容がよく整理され、わかり易かった。 ・最近受講した講演会や研修会の中でも一番整理された内容であった。 ・講師の親しみやすい風貌 ・工夫された導入部により、スムーズに生徒が講演内容に入り込めた。 (オバマと一宮市長) ・携帯電話を今から持つ生徒が 5 0 % 程度いるので、タイムリーでもあった。 ・生徒がしっかり聞いていたことが内容の良さを物語っている。 課題 ・時間がもう少しあれば、生徒が意見を述べたり、質問ができた。 ・事前の打ち合わせが少なかった。
セミナー風景	

(6) 新潟県

開催校	上越市立国府小学校
開催日時	平成 2 1 年 1 1 月 2 0 日 (金) 1 1 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0
セミナー会場	児童向けセミナー：多目的室 保護者向けセミナー：多目的室
受講者数	児童： 6 5 名 保護者： 4 0 名 教職員： 5 名
セミナー形態	児童向けセミナー：授業形態 保護者向けセミナー：講演
アンケート回収数	児童： 6 5 保護者： 2 9
開催地の感想	< 児童向けセミナー > 集中して受講していた。講師の発問に対してよく考え、自分の考えを発表していた。 家族で携帯電話の約束を決めることにも真剣に考え、自分の考えを発表していた。 < 保護者向けセミナー > 小学生の子どもに携帯電話を持たせる親は少ないが、セミナーへの関心が高く積極的に参加した。 子どもに携帯電話を持たせる際には、きちんと約束を決めようとする保護者が増えた。 < セミナーの内容について > ドラマの映像はとてもわかりやすかった。ワークショップ的な活動も取り入れていただき、主体的に学習することができた。 携帯の光と影の部分がよくわかり、保護者にも好評であった。
セミナー風景	 

(7) 新潟県

開催校	上越市立直江津中学校
開催日時	平成 2 1 年 1 1 月 2 0 日 (金) 1 1 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0
セミナー会場	生徒向けセミナー：体育館 保護者向けセミナー：体育館
受講者数	生徒 4 3 0 名 保護者・教職員 他 2 0 名
セミナー形態	生徒向けセミナー・保護者向けセミナー： 講演資料（冊子）とプロジェクターによるプレゼンを併用した参加型講演
アンケート回収数	生徒： 4 0 9 保護者 8
開催地の感想	< 生徒向けセミナー・保護者向けセミナー（同時開催） > 身近なケータイを題材にし、グラフなどの数値や動画を使った形での説明と問題提起は生徒や保護者がネット社会の中でどのように生活していくべきかと、深く考えるきっかけになったと思う。 来年度については今回の資料を活用した継続的な指導を続けていく。 保護者向けのセミナーを充実させたい。
セミナー風景	

(8) 新潟県

開催校	上越市教育委員会
開催日時	平成 2 1 年 1 1 月 2 1 日 (土) 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0
セミナー会場	指導者向けセミナー：新潟県上越市 市民プラザ
受講者数	指導主事 情報指導員 (地域コーディネータ) ・学校教員 保護者 4 0 名
セミナー形態	指導者向けセミナー：講義及びパソコンを使用した実習
アンケート回収数	指導主事： 8 保護者： 2
開催地の感想	実際にパソコンを使用して、参加者が当事者意識を持って実習できたことがとてもよかった。 資料「ネット社会の歩き方」のページ内容を確認しながらセミナーが進行したので、今後の子どもへの指導に生かしやすい。 < 直江津中・国府小でのセミナーを参観しての感想 > ・直江津中 子どもが自分自身の問題としてとらえて学習していた。 機材の準備をしっかりといただきよかった。 このたびの資料を、近隣の学校へも拡げていきたい。 ・国府小 まだ所持する前の時期に、親子で聞いたことが大変よかった。 保護者は、実名の出ている画面を見ることによって、緊迫感をもって参加できた。 ワークショップの中で、自分の考えを出せたことが効果的だった。
セミナー風景	 

(9) 茨城県

開催校	つくば市立谷田部東中学校
開催日時	平成 2 1 年 1 1 月 2 1 日 (土) 1 0 : 4 0 ~ 1 1 : 3 0
セミナー会場	体育館
受講者数	生徒 : 2 0 0 名 保護者 : 3 名
セミナー形態	生徒向けセミナー : 体育館 (保護者同席)
アンケート回収数	生徒 : 1 8 5 保護者 : 3
開催地の感想	< 生徒向けセミナー > インターネットや携帯電話は便利であり、かつその危険性もあることを知って使用していくことが必要であることを様々な実例を通して説明していただいた。 ・パンフレットに要点がまとめられており、わかりやすいだけでなく、プレゼン形式でも説明いただけたことがわかりやすかった。 ・自分の知らないところで、自分に関するサイトがあることは衝撃的な事実であった。 ・保護者の立場として・・・ケータイを与える親としての自覚と責任の甘さを再認識できた。 ・責任をもって正しく携帯電話を使うことの大切さを認識した。
セミナー風景	 

(1 0) 和歌山県

開催校	和歌山市立宮前小学校
開催日時	平成 2 1 年 1 1 月 2 6 日 (木) 1 4 : 3 5 ~ 1 6 : 1 0
セミナー会場	児童：体育館 保護者：交流室
受講者数	児童： 1 2 0 名 保護者及び教職員： 3 0 名
セミナー形態	児童向けセミナー：授業 保護者向けセミナー：講演
アンケート回収数	児童： 1 1 9 保護者： 1 7
開催地の感想	< 児童向けセミナー > パワーポイントを使用し、視覚に訴え、具体的な事例を挙げながら、授業を進めていただいたので、子どもたちにとってわかりやすく、実践的であったと思う。冊子があったので、子どもたちの理解に役立ったし、後になって振り返ることもできるので大変良かったです。 < 保護者向けセミナー > 大人は、一般的に、携帯電話に関する知識が不足しており、講演を通して、初めて知ったことや知っておく必要がある事柄が多々あった。今日のような情報化社会においては、教員や保護者は、ネット社会の歩き方について、積極的に情報収集することが大切だと思った。
セミナー風景	 

(1 1) 熊本県

開催校	阿蘇市立坂梨小学校
開催日時	平成 2 1 年 1 2 月 4 日 (金) 1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0
セミナー会場	阿蘇市立坂梨小学校 児童向けセミナー : 教室 保護者向けセミナー : 音楽教室
受講者数	児童 : 2 1 名 保護者 : 6 0 名
セミナー形態	児童向けセミナー : 授業 保護者向けセミナー : 講演
アンケート回収数	児童 : 2 1 保護者 : 4 9
開催地の感想	< 児童向けセミナー > 6 年生向けの授業では、パンフレットと合わせてわかりやすく説明していただいた。話の中で、児童の携帯電話に対する興味・関心の高さに気づかされた。また、児童の感想にも「知らないことがたくさんあった」との記述があり、セミナーの効果の高さがうかがえた。保護者向けの講話では、「わかりやすい説明で良く理解できた」「禁止するだけではなく、親子で約束して携帯電話やインターネット、ゲームなどを使わせることが大切」など、ネットワークのメリットやデメリットについて親子できちんとルール作りをしなければならない」などの意見が出され、中学校進学に向けて効果的な情報モラルの指導を行うことができたことを実感することができた。 これからもネットワーク社会は加速度的に進展していくと考えられる。これからの社会を生きていく子どもたちに対して、我々教員も最新の情報機器に関する情報を得ながら、子どもたち自身が自ら判断してネットワークを活用することができるよう情報モラル教育を推進していきたい。
セミナー風景	 

(1 2) 愛知県

開催校	豊田市立足助中学校
開催日時	平成 2 1 年 1 2 月 1 2 日 (土) 1 0 : 3 0 ~ 1 1 : 3 0
セミナー会場	生徒：体育館 保護者：体育館
受講者数	生徒：70名 保護者：48名 教師：6名
セミナー形態	生徒向けセミナー：講演 保護者向けセミナー：講演
アンケート回収数	生徒：70 保護者：48
開催地の感想	< 生徒向けセミナー、保護者向けセミナー (同時開催) > サイバー犯罪について、これまでは、自分とはあまり関わりがないことと思っていた保護者や生徒も多かったのですが、保護者や生徒の感想から、具体的な事例をあげていただいたり、クイズ形式で自分なりに考えたりしたことで、より身近な問題として捉えている方が増えたと感じました。 保護者のアンケートに「現在は携帯電話を持たせていないが、今後持たせたときのよい参考になった」、「もう一度、ルールを確認しなければならぬ」、「家庭でのルールを作りたい」というような内容の感想がありました。このことから、今まで以上に意識が高まったと思います。 携帯電話やパソコンのインターネットの使用について、親子で話し合いをするよいきっかけになったと思います。 実際の事例をたくさん取り入れた内容で分かりやすく講演していただき、誠にありがとうございました。
セミナー風景	

(1 3) 和歌山県

開催校	和歌山市立教育研究所
開催日時	平成 2 2 年 1 月 1 9 日 (火) 1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 0 0
セミナー会場	和歌山市教育文化センター 大会議室
受講者数	学校長 4 5 名、指導主事 3 名、計 4 8 名
セミナー形態	管理職向けセミナー：講演
アンケート回収数	学校長：4 2
開催地の感想	各学校において情報モラル教育を積極的に推進していくためには、何よりも学校長の意識が重要であります。その意味で、学校長が一堂に会する校長会で情報モラル研修を実施することができましたことは、たいへん意義のある研修となりました。今後の和歌山市の情報モラル教育の推進に大いなる一步を踏み出すことができたと思っております。 研修会では、身近な事例から管理職としての必要な理論まで、幅広く、かつ奥深い内容のお話をしていただきました。参加した学校長のだれもが情報モラル教育の必要性和具体的な取り組みのアイデアとヒントを実感とともに持ち帰ることができました。 今後は、今回の研修を一過性のものに終わらせるのではなく、如何に意味のあるステップとして価値づけていくかが課題となってきます。今回のセミナーを受講した学校長が、校内の実践を効率的・効果的に実施できるよう、研修の主催者として資料提供、広報活動等の積極的な支援を行ってまいりたいと考えております。 また今回、「ネット社会の歩き方セミナー」を校長会で開催できましたことは、本市にとって大きな財産となりました。
セミナー風景	 

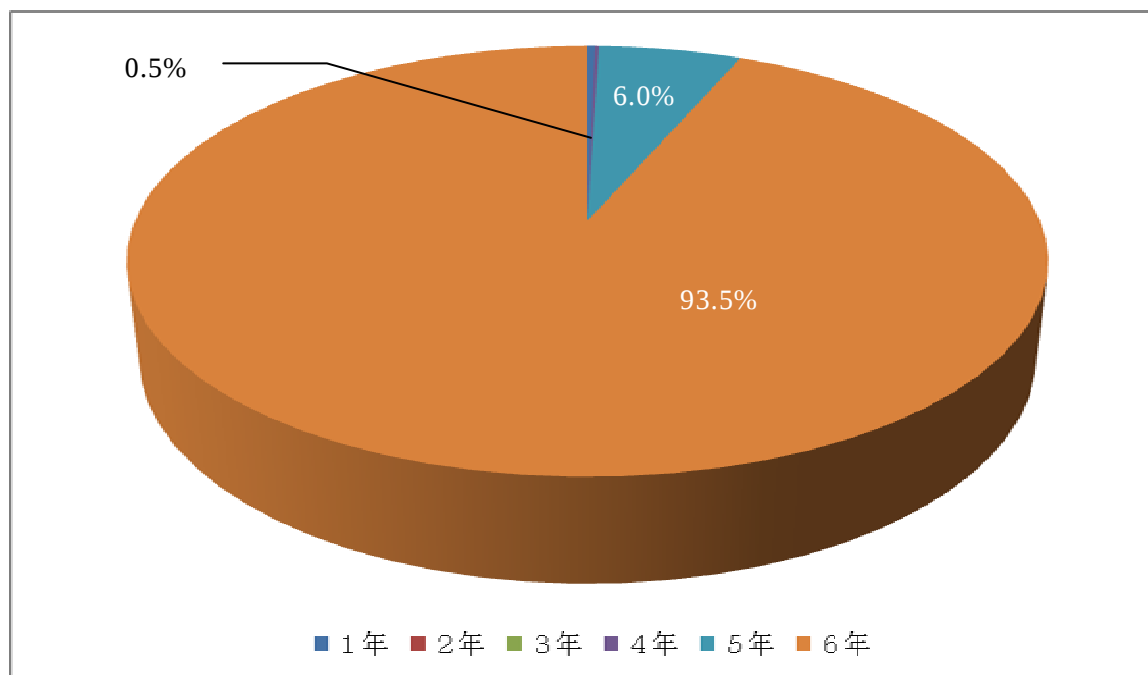
(1 4) 青森県

開催校	十和田市立北園小学校
開催日時	平成 2 2 年 1 月 2 1 日 (木) 1 4 : 4 0 ~ 1 6 : 4 5
セミナー会場	児童向けセミナー : 総合学習室 保護者向けセミナー : 総合学習室
受講者数	児童 : 8 4 名 保護者・教員 : 4 0 名
セミナー形態	児童向けセミナー : 講義 保護者向けセミナー : 講義
アンケート回収数	児童 : 8 2 保護者 : 1 9
開催地の感想	< 児童向けセミナー > 講師が子どもたちに分かりやすく、優しい接し方で児童の実態を聞き出すなど、自校の生徒の実態をこの場で初めて知ることができました。また、具体的な事例をもとに被害に遭わないようにするためにどのようにしたらよいのかを学ぶことができました。 < 保護者向けセミナー > 本校の6年生の実態を紹介してもらい、思ったよりもブログやプロフを見ていることが分かりました。また書き込みをしている児童もいて、改めてこのような情報モラル教育の必要性を感じました。 その一方で、いつの時代も変わらないものや変わっていくものをセットで教えることが大事であることを学びました。指導を単純化して、規則で縛るのではなく、望ましい使い方と気をつける点を子どもたちに考えさせながら指導していくことを強調されていましたので、その点を肝に銘じて今後の指導にあたるようにしたいと思います。 小学生のうちに指導すべきことがたくさんあることが分かりました。今後の指導計画の整備を急ぎたいと思います。
セミナー風景	 

5 . アンケート結果分析

5 . 1 小学生対象アンケート

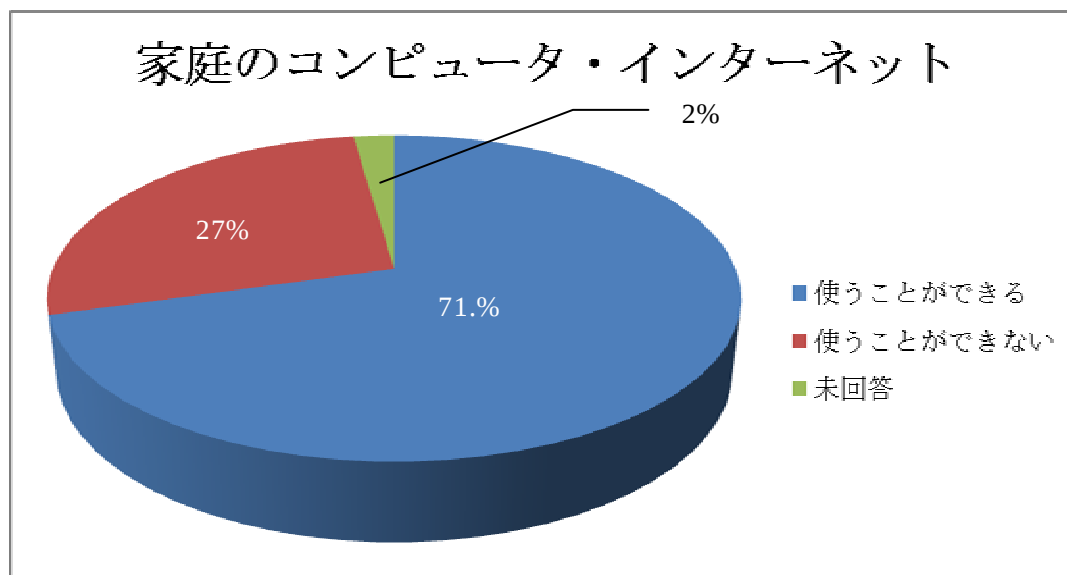
対象としては6年生が約94%、5年生が約6%であった。小学校高学年のアンケートとして捉えることとする。男女比はほぼ半々であった。



(1) パソコン、インターネットの利用について

71.0%が家庭でコンピュータやインターネットを使うことができると回答している。

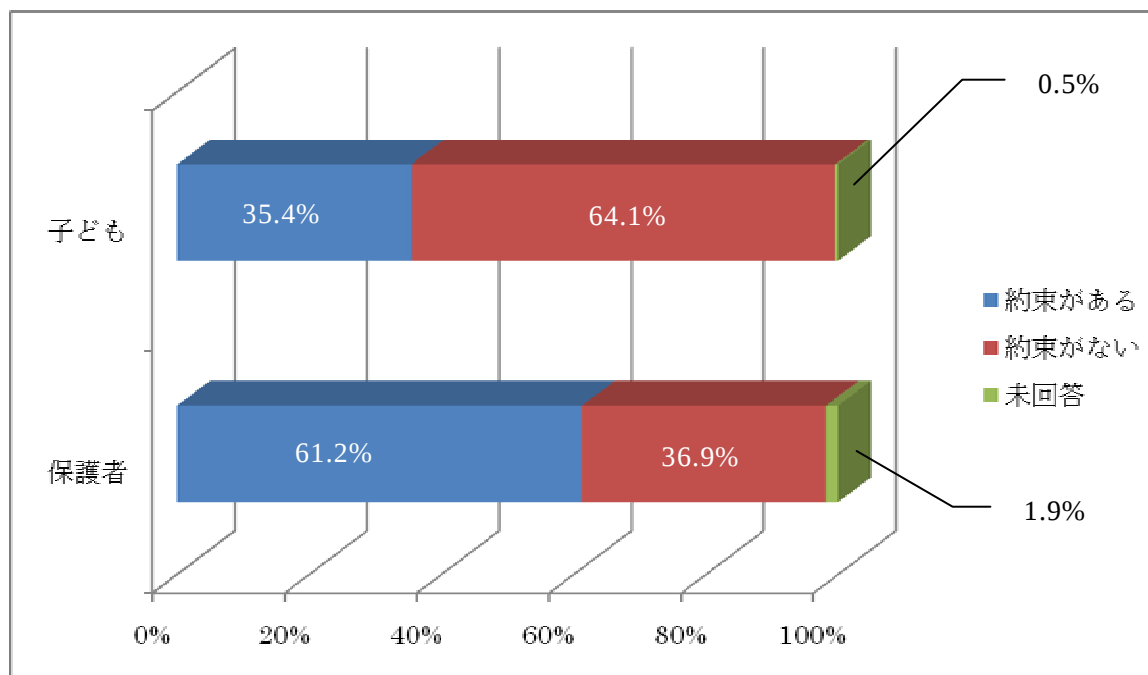
既知用語に関する質問のうち、コンピュータやインターネットの使用に関して「ブログ(86.5%)」「ネットゲーム(74.1%)」が特に高率であり、コンピュータやインターネットが使える環境にある児童はサイト閲覧等を中心として実際に家庭でインターネットを使用していることが推察できる。

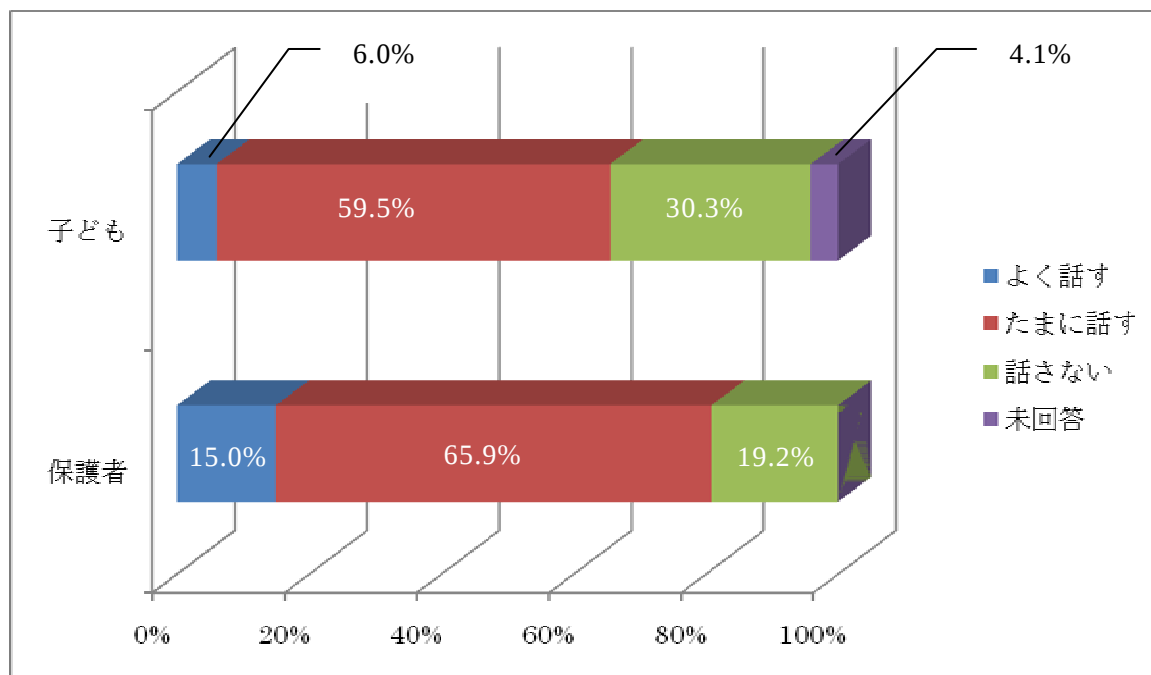


（２）インターネット利用時の約束について

家庭でインターネットを使う際に約束を決めているとする児童は35.4%。半数以上が約束を決めていないと認識している。他方、小学生の保護者に対するアンケートでは、61.2%が約束を決めていると回答されており、「親が約束したつもりでも、子どもは約束がないと認識している」層が少なからずいること（今回の数字では約半数の家庭）が推察される。

同様に、インターネットの使用に関して家庭で親子の話し合いがあるかどうかについて、81%の保護者が話していると認識しているのに対し、児童は65%に留まっており認識に乖離がある。話し合いがないとした35%の児童は、親との相談なしに勝手にインターネットを使っている状態にあると考えられる。





（３）携帯電話の使用について

今回の対象者の中で、携帯電話の所持は、１５６／６１７で２５．３％であった。携帯電話を持ち始めた学年としては４年生までが０人、５年生で１２人、６年生１４３人、未回答１人であった。回答者のほとんどが６年生であったが、６年生の２学期頃までに４人に１人程度が所持しているという結果となった。ただし、保護者の回答では２７％が持たせており、持ち始めた学年は小学校１年が８％，２年が６％，３年が８％，４年が１８％，５年が１３％，６年が５％という回答があり児童の結果とは異なる回答が得られたが、５～６年生という回答者の群において所持率が２５％程度という傾向には一致が見られた。

主な用途として、自由記述から拾うと、

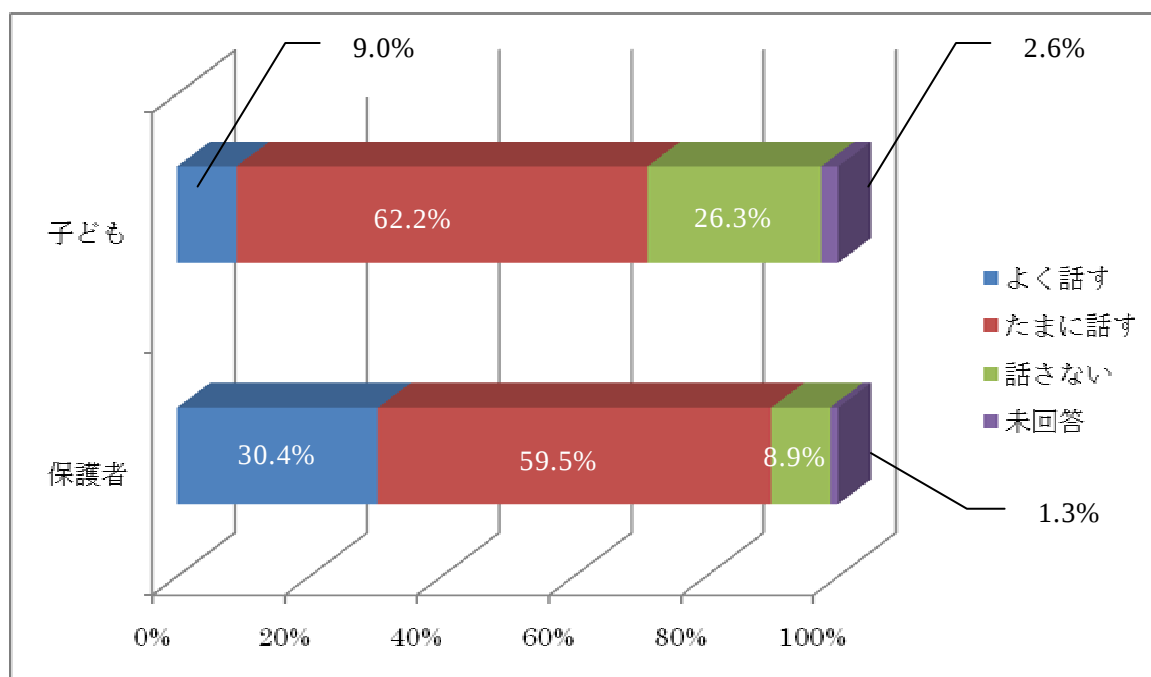
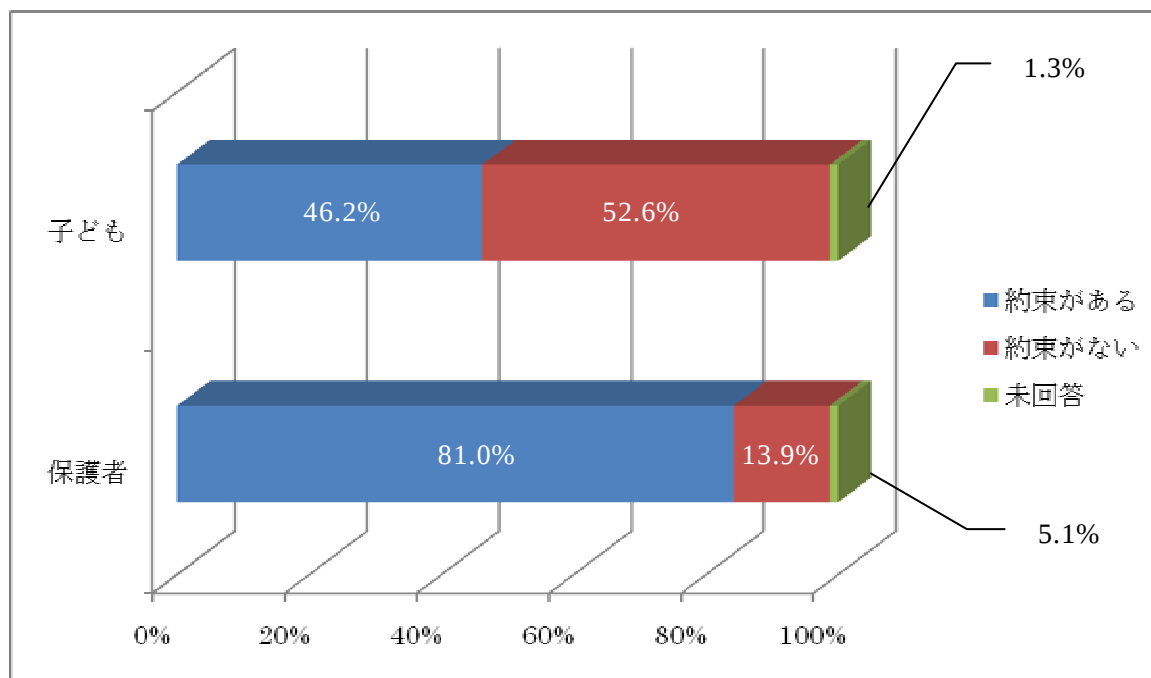
- ・塾や習い事の際、または緊急時の家族との連絡手段（通話・メール）
- ・友人との連絡（通話・メール）
- ・カメラ
- ・動画や音楽の視聴
- ・電卓
- ・ゲーム
- ・Webを見る
- ・辞典

などである。

（４）携帯電話利用時の約束について

家庭で携帯電話を使う際に約束を決めているとする児童は４６．２％。インターネットの場合よりもやや高率であるが、所持者の半数以上が約束を決めていないと認識している。他方、小学生の保護者に対するアンケートでは、８１．０％が約束を決めていると回答されており、やはり「親が約束したつもりでも、子どもは約束がないと認識している」層が少なからずいること（インターネットと同様に半数程度の子家庭）が推察される。

また、携帯電話の使用に関して家庭で親子の話し合いがあるかどうかについて、９０％の保護者が話していると認識しているのに対し、児童は７１％に留まり、約３割が「野放し」状態に相当すると思われる。



（５）ネット・メディア使用傾向

用語に関する認知度、いやな思いをした体験などから、インターネット、携帯電話の利用に関する傾向を読み解くと、下記ようになる。

「ブログ」は男女とも約９割が認知、「プロフ」は男子の３割・女子の６割が認知しており、コミュニケーションツールとしてのインターネットの姿についてはかなり把握されている。また、「２ちゃんねる」を知っていると答えた児童が約１／３に上ることに注意を払う必要がある。「２ちゃんねる」はインターネットの負の側面を代表する言葉でもあり、その存在について（おそらく学校で教わることはないのに）知っていると言うことは、インターネット使用の過程で、あるいは友人知人からの情報として知るにいたる機会があったということの意味する。

一方で、「フィルタリング」についての認知は１～２割に留まる。保護者では７割が認知している言葉であり、小学生の認知度が低いことは、インターネットの危険から自ら身を守るための知識に乏しいことが示唆される。

「出会い系サイト」「掲示板サイト」「ネットゲーム」「学校裏サイト」は、若年層ではコンピュータからのアクセスよりは、携帯電話からのアクセスの比率が高いものに該当するが、小学校高学年の半数以上が認知している。携帯電話を所持しているか否かにかかわらず、情報モラル教育や生活指導等を通じた情報安全に関わる知識として見聞していると思われるが、「フィルタリング」の認知が低いこととあわせて考えると、『「出会い系サイト」などの用語が意味するものが危ない、怪しいということは知っているが、具体的にどのように身を守るかの知識は備えていない』という状況が考えられる。

携帯電話やインターネットでいやな思いをした者は、３５名、６％であった。内容は、チャットで暴言を言われた、掲示板で悪口を言われた、迷惑メールが来た、動画を見たらウィルスに感染した、などであった。ほとんどが比較的軽度の部類に属すると思われ、実体験として危険に遭遇する比率は多くないと考えられるものの、深刻な事態に繋がりがねない危うさをはらんでいることに留意する必要がある。同じ質問で保護者の回答は、２２％が「ある」と答え、チェーンメール、悪口メール、架空請求などの迷惑メール類が多いが、中には、ストーカーにあった、なりすましで悪口の犯人にされかかった、同級生からＨさせるのメールが来た（小６男子）という、やや心配な事例もみられた。

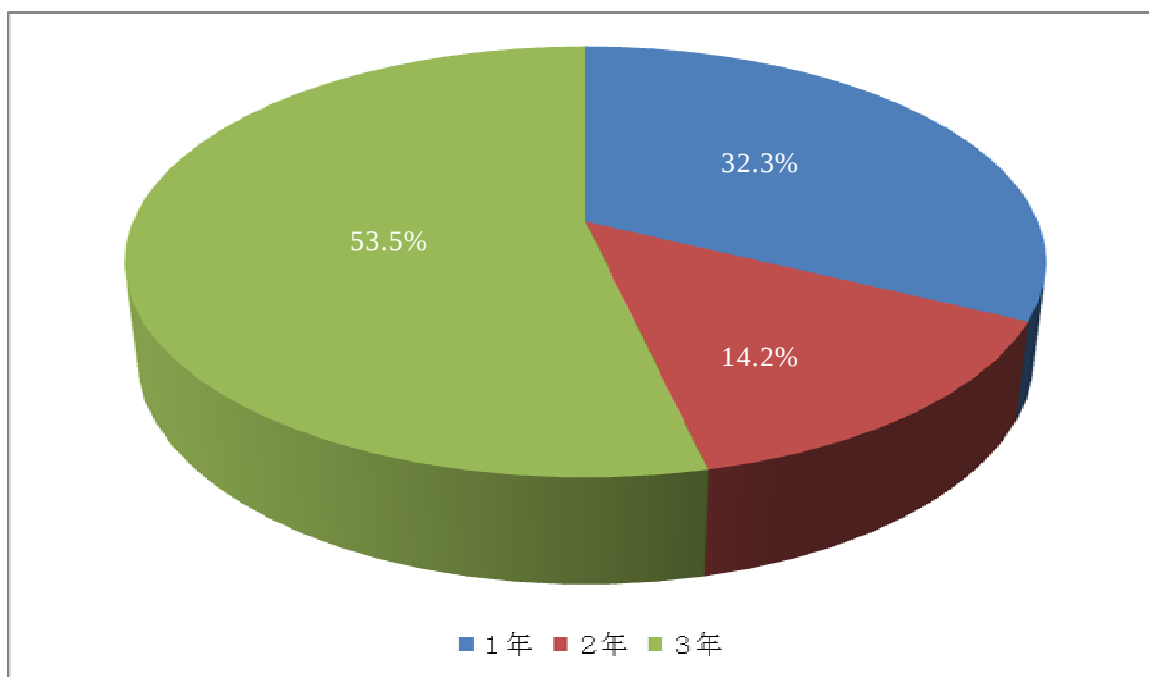
（６）セミナーについて

小学生、保護者とも、セミナーについては好印象であり、特に子どもたちは９割近くが楽しく、８割が役立つものと回答し好評であった。保護者からも、７５％が良いと答え、否定的評価は僅少で、自由記述においても、このようなセミナーの機会の重要性についての認識がうかがわれた。

また、テキスト冊子について、小学生にわかりやすさを聞いたところ、８０％がちょうどよいとの回答であり、好評であった。

5.2 中学生対象アンケート

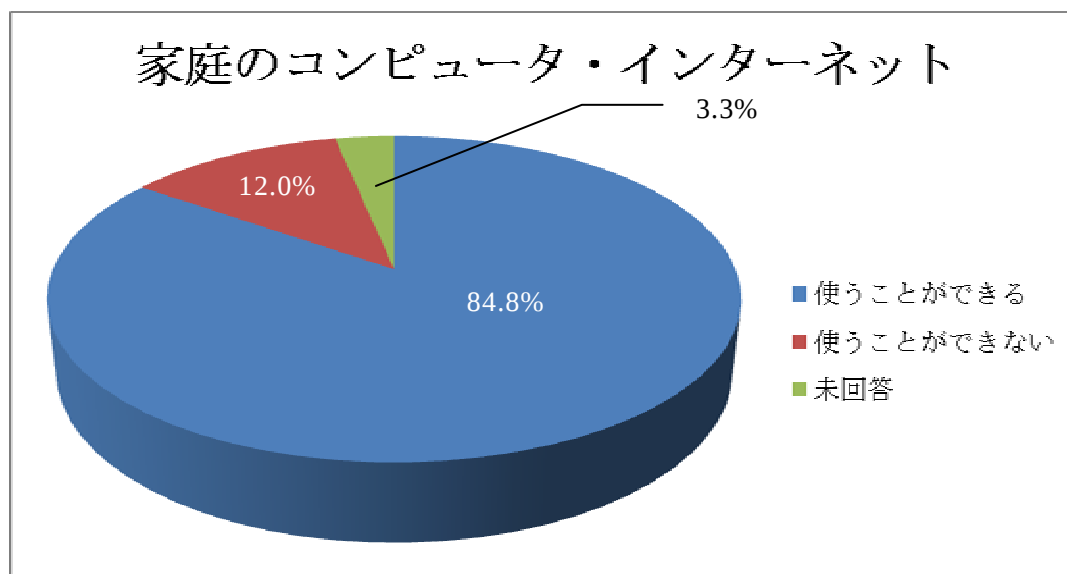
対象としては中学校3年生が54%、2年生が14%、1年生が32%であった。



(1) パソコン、インターネットの利用について

84.8%が家庭でコンピュータやインターネットを使うことができると回答している。

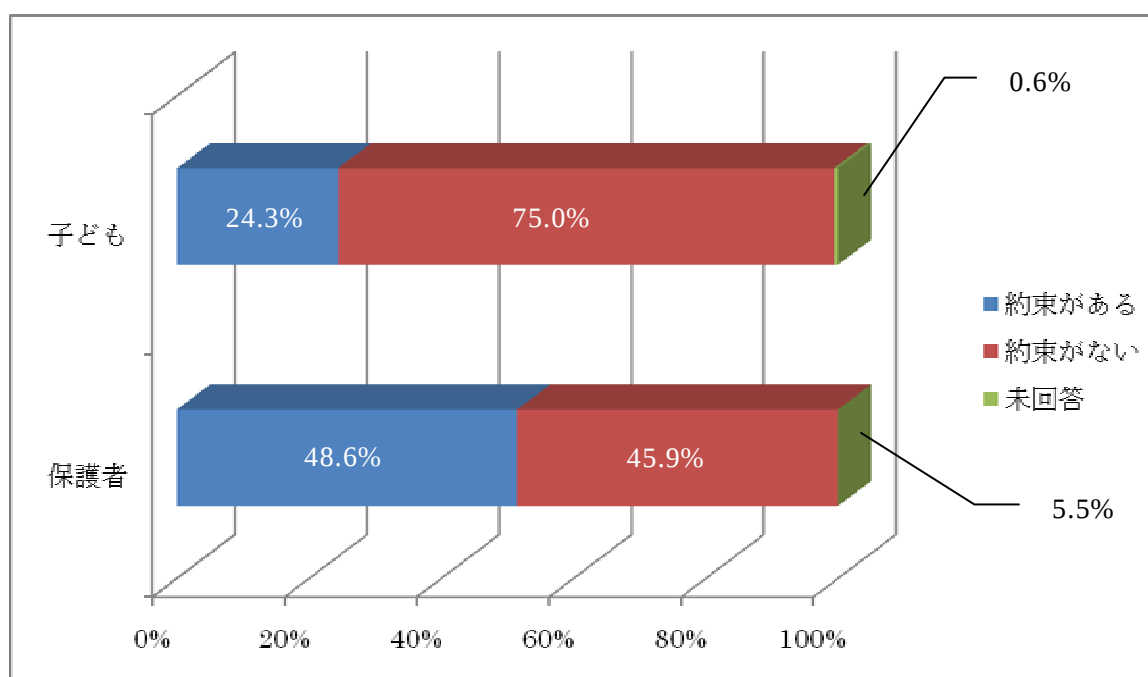
既知用語に関する質問のうち、コンピュータやインターネットの使用に関して「ブログ(93.8%)」が特に高率であり、実際に家庭でブログの作成や閲覧などにインターネットを使用していると推測される。

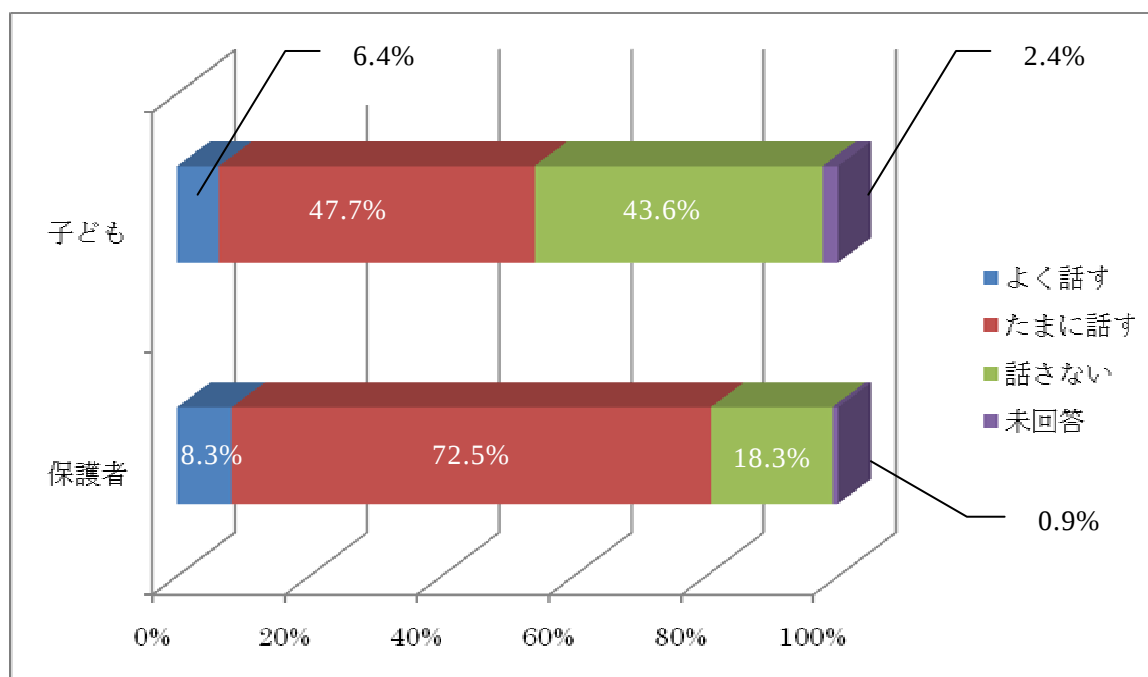


（２）インターネット利用時の約束について

家庭でインターネットを使う際に約束を決めているとする生徒は24.3%。3/4が約束を決めていないと認識しており、小学生の場合よりも高率である。他方、中学生の保護者に対するアンケートでは、48.6%が約束を決めていると回答されており、「親が約束したつもりでも、子どもは約束がないと認識している」層は、小学生と同様に約半数にのぼるようである。

同様に、インターネットの使用に関して家庭で親子の話し合いがあるかどうかについて、81%の保護者が話していると認識しているのに対し、生徒は54%に留まっており、小学生の場合よりも差が開く結果になっている。子どもの4割強が、インターネット使用について親との話し合いがないとの回答であり、何らかの対応が親側に求められることが示唆される。





（３）携帯電話の使用について

今回の対象者の中で、携帯電話の所持は、350 / 945 で 36.0% であった。持ち始めた時期で、最も多いのは中学校 1 年生の 112 人、次いで小学校 6 年生の 60 人、5 年生 39 人、中学 2 年生 30 人、小学校 3 年生 27 人、4 年生 24 人、中学校 3 年生 23 人、1 年生 9 人、2 年生 5 人、未回答 11 人であった。所持者の約 3 割が中学校入学を機会に購入している。小学校中学年までに 2 割、小学校高学年で 3 割、中学校入学時に 3 割、そして中学校 2 年次に 1 割というのが携帯電話を持ち始める年代のようである。

中学生の主な用途として、自由記述から拾うと、

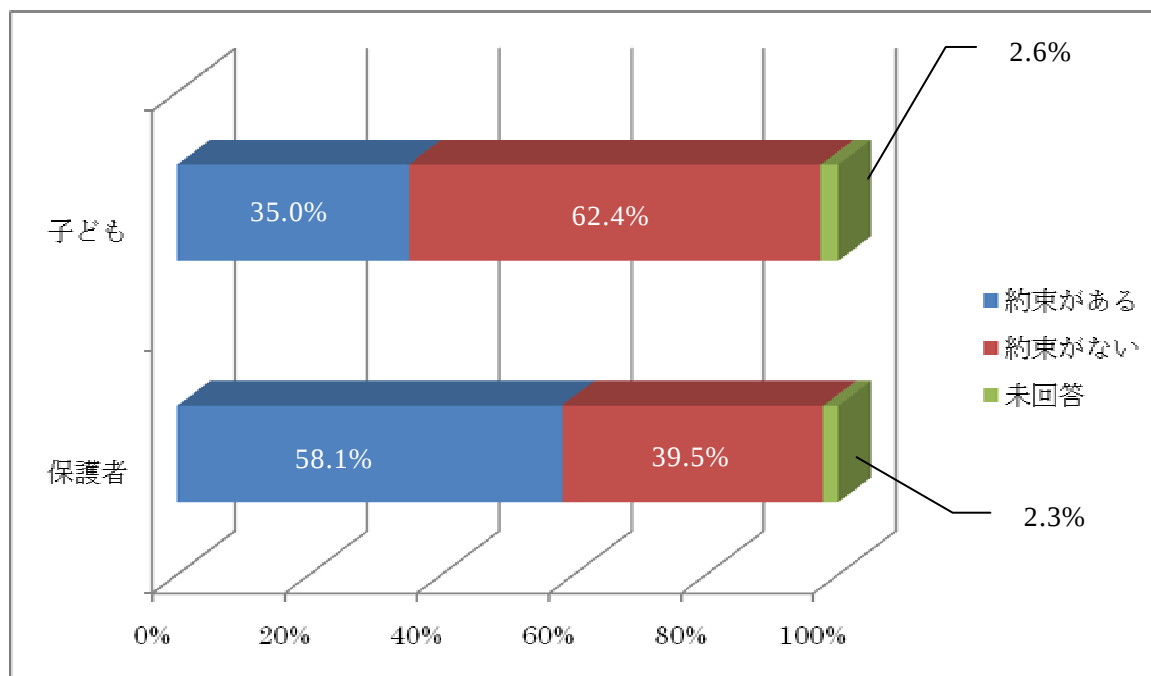
- ・塾や習い事の際の家族との連絡手段（通話・メール）
- ・友人との連絡（通話・メール）、SNS
- ・音楽を聴く
- ・インターネットを見る
- ・ゲーム
- ・テレビ
- ・写真撮影、電卓、スケジュール、アラーム

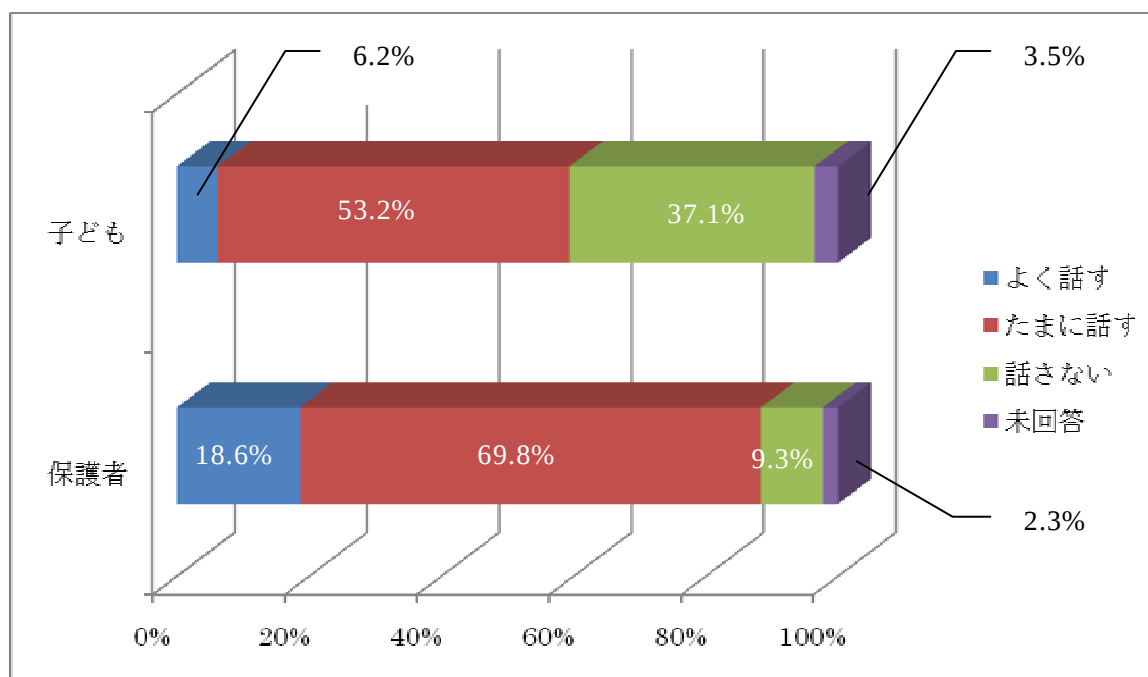
などであり、インターネットのコンテンツ視聴や、天気予報などのサービスなど、高機能化した携帯電話を使いこなしていることがうかがわれた。記述自体ではほぼ小学生と傾向は似ているが、交際範囲は他校の友人や一般社会人にまで広がる例も回答があり、家族に限定される傾向がある小学生とは異なり、友人等との自由な通信に比重が移ってきていることが推測される。なお、レアケースであるが出会い系サイト（中 3 女子）という回答もあった。

（４）携帯電話利用時の約束について

家庭で携帯電話を使う際に約束を決めているとする中学生は３５．０％。インターネットの場合よりも高率であるが、やはり約６割以上が約束を決めていないと認識している。他方、中学生の保護者に対するアンケートでは、５８．１％が約束を決めていると回答されており、やはり「親が約束したつもりでも、子どもは約束がないと認識している」層が少なからずいること（インターネットと同様に約半数の家庭）が推察される。

また、携帯電話の使用に関して家庭で親子の話し合いがあるかどうかについて、話していると認識している保護者は８８％であったのに対し、中学生の回答は５９％に留まり、小学生の場合と同様の傾向がみられた。中学生の子どもと保護者との間では、クラブ活動などのために家族で過ごす時間は少なくなることはあるにしても、親からは積極的にコミュニケーションをとろうと働きかけていることが推察されるが、３割程度が子どもの受け止め方と乖離しているようである。また、中学生で約４割が携帯電話の約束ごとについて親と話したことがないとの回答で「野放し」状態に相当すると考えられる。





（５）ネット・メディア使用傾向

用語に関する認知度、いやな思いをした体験などから、中学生のインターネット、携帯電話の利用に関する傾向を読み解くと、下記ようになる。

「ブログ」は男女とも９割以上の認知、「プロフ」は男子が６割、女子で９割が認知しており、コミュニケーションツールとしてのインターネットの姿について、やはりかなり把握されているようである。また、「２ちゃんねる」を知っていると答えたのは５割（小学生では３割強であった）に上った。使用経験年数が増加するにつれて、インターネットの負の側面についても知るようになるということである。

一方で、「フィルタリング」についての認知は６割に留まる。新たに制定された青少年ネット環境整備法や携帯電話キャリア等の取り組みにより増えてきているようであるが、４割が知らないことはやはり課題であるといえよう。小学生の場合と同様、インターネットの危険から自ら身を守るための知識に乏しいことが示唆されている。

「出会い系サイト」「掲示板サイト」「ネットゲーム」「学校裏サイト」は、いずれも約８割の認知度であり、生徒間の情報交換から知識を得る機会も当然多いとおもわれるが、むしろ、中学１年次の技術科を中心に行われる情報教育、情報モラル教育や生徒指導等の成果であると考えられる。他方、「フィルタリング」や「プロトコル」などの、安全・セキュリティ対策を考える上で必要となる概念についての認知度は低いため、やはり、「危険らしいということはわかるが、具体的にどのように予防し、身を守るのかについての知識は乏しい」という状況にあると推察される。

携帯電話やインターネットでいやな思いをした者は、８５名、９％であり、小学生よりも高率であった。内容は、迷惑メールや、チャット・掲示板での誹謗中傷などで、出会い系サイトからの勧誘メールなどが多いようであった。保護者の回答も同様であったが、ゲームサイトに勧誘され高額請求されたり、娘がケータイ依存になった、プロフに顔写真を公開されたなど、思春期の子どもを抱える保護者ならではの事例報告もあった。やや深刻と思われるものでは、架空請求、サービス料

の高額請求、ワンクリック詐欺、いじめ（書き込み、いじめサイト）の事例も報告された。

（６）セミナーについて

中学生、保護者とも、セミナーについては好印象であり、特に子どもたちは９割が楽しく、８割が役立つものと回答した。保護者からも、８割近くが良いと答え、否定的評価は僅少で、自由記述においても、このようなセミナーの機会の重要性についての認識がうかがわれた。

また、テキスト冊子について、中学生に対してわかりやすさを聞いたところ、８０％がちょうどよいとの回答であり、中学生に対しても好評であった。中学生、小学生それぞれに、自分たちのレベルに適した内容があり、満足であったとの評価が得られたようである。テキスト冊子はマンガやイラスト、キャッチコピーや事例解説などを組み合わせた体裁であるが、これらが、幅広い年齢層にそれぞれのレベルで受け入れられる内容であったと推察される。

6. セミナーを終えての感想と今後の課題

井上 勝委員

1. 千葉市立花見川第二小学校でのセミナー

1.1 事前準備

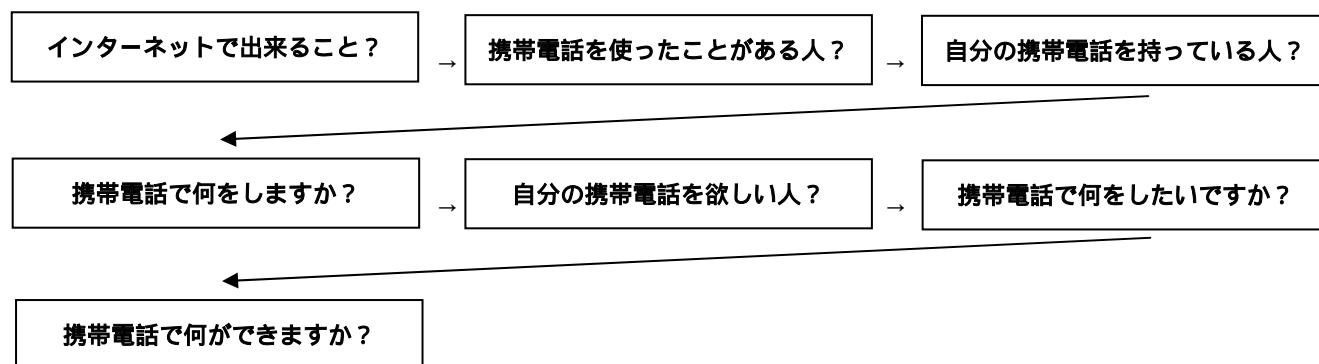
千葉市立花見川第二小学校は昭和43年、公団花見川団地の入居開始の年に創立された学校で、現在は各学年1学級、全校児童165人の学校である。私の勤務する八千代松陰高等学校から車で20分ほどの距離にあり、花見川第二小学校区から本校に通っている生徒も多くいるので、私にとっては地元の学校という第一印象であった。

近いという地理的なメリットを活かし、セミナーをより充実したものにするために事前打合せを佐々木秀一校長先生に打診したところ快諾してくださった。セミナー開催の約ひと月前に実現した。学校の概要や児童のインターネットやケータイの利用状況、セミナーへの要望点などをうかがい、会場の下見、機器の確認などをさせていただいた。雑談の中で、佐々木先生は八千代市内の中学校に勤務されたことがあり、先生と私の共通の教え子が何人もいることがわかった。このことによって、より強い親近感を抱きつつセミナーの準備に取り組むことができた。

1.2 児童向けセミナー

土曜参観授業の位置づけで5・6年生の児童66名を対象として行った。児童生徒用のテキストとプレゼンテーションソフトを活用して次のような流れで進行した。

(1) 発問



これらの発問により、受講している児童の携帯電話の所持率、利用実態を把握することができるとともに児童に携帯電話は「電話の機能もついたコンピュータ＝インターネットへの入り口」であることを示す。

(2) テキスト2～5ページ

ケータイ・パソコンは便利であるが、気をつけて使わないと、危険な目にあったり、トラブルになったりすることもあることを示す。

(3) 発問

メールの良いところ？

→

メールの困ったところ？

(4) テキスト12～13ページ

テキストと以下の内容に解説。

- ・文字だけでは本当の気持ちは伝わりにくい → 誤解されない文章が大切
- ・相手の状態を考えて送ろう → メールは相手の都合の良いときに読んでもらうもの
- ・友だちの間でルールを作ろう → 生活習慣を乱さないために
- ・チェーンメールの例の紹介 → 本当の情報かどうか見極めよう
- ・なりすましメールの例の紹介 → 変だと思ったら親や先生に相談する

(5) DVD視聴(「ちょっと待って、ケータイ」の事例2「ケータイに忍び寄る罠」)

DVDとテキスト8～10ページの内容を解説し、インターネット上には有害な情報もたくさんあることを示す。

(6) まとめ(テキスト19ページ)

ネット社会をうまく歩いていくためにはネット上のコミュニケーションと face to face のコミュニケーションのバランスが大切であることを示す。

1.3 保護者向けセミナー

児童向けセミナー終了後に実施。保護者のほか近隣の小学校中学校の先生方も参加された。申込時の要望にそって「小学生はいつ頃から携帯を持たせるのが適当か」に主題を置いて以下のような内容で進めた。

- (1) 子どものケータイ所持率、利用実態等(テキスト22～23ページ)
- (2) インターネットのしくみ
- (3) インターネットの歴史
- (4) ネット社会の特性(テキスト26～27ページ)
- (5) 子どものケータイ・ネット利用についての問題点
- (6) 子どもにケータイを持たせたときに生じやすい事例
- (7) フィルタリング設定の必要性
- (8) DVD視聴(「ケータイに潜む危険」の事例3「プロフの危険な誘惑」)
- (9) はじめて子どもにケータイを持たるときに必要な保護者の心構え
- (10) まとめ(テキスト30～31ページ)

2. セミナーを終えての感想

冒頭にも書いたが、地元の学校でのセミナーであったので、大変話しやすかった。話とスライド

だけでなく保護者用テキストの中にも紹介されている文部科学省エル・ネットで閲覧できる映像と同じ内容のDVD映像を視聴していただいたが、効果的であった。

授業中の子どもたちの様子を振り返ってみて、子どもたちのネット・ケータイ利用の安全性を高めていくためには単にこれはしてはだめ、こうすればよいという Know How だけの教育では限界があり、なぜそれをしてはだめなのか、なぜそうすればよいのかを教える Know Why の教育が重要だと感じた。

3. 今後の課題

セミナーは、限られた時間であり、テキストの内容すべてを扱うことはできない。私の勤務校には中学校が併設されており、技術・家庭科の「情報とコンピュータ」の授業で情報モラルを指導する際「ネット社会の歩き方」を教材として利用することが多い。非常に良い教材だからである。テキストの内容を「ネット社会の歩き方」に還元することができればセミナーで話しきれなかった内容についてより深く理解していただくための教材になるとともにセミナーに参加したくても参加できない人への学ぶ機会を提供することになる。

高度情報化社会を生きていく子どもたちにとって情報を適切に使いこなす力をつけることはまさに生きる力である。小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校の新学習指導要領には情報モラル教育の充実がうたわれている。そのためにはより多くの教員が情報モラルを指導できる体制作りが不可欠である。文部科学省では平成21年度中に全国7地域で指導主事及び教員を対象とした情報モラル教育の指導者養成研修を実施した。このような研修が充実、拡大していくとともに、情報化の進展に見合った教材の継続的開発が必要である。

ネット・ケータイ利用の安全に対する意識は向上しつつあるが、情報モラルに関心を示さない人たちもいることは事実であり、啓発活動が必要である。

トラブル事例から学べることを転ばぬ先の杖として活かすためにケータイキャリア、コミュニティサイト等の運営者、警察、学校、研究者が連携してトラブル事例を共有するシステムが必要である。

子どもの発達段階に加え、ケータイを持たせている保護者向けのセミナー、まだ持たせていない保護者向けのセミナーというように対象を限定したセミナーがより効果的であると考えられる。

1. 上越市立国府小学校

1.1 児童向けセミナー

(1) 共通体験を作り出す

セミナーの最初に、子どもに手を挙げさせて携帯電話を持っている割合を調べてみると、数人程度であった。そのため、セミナーで取り上げる事例が、どのような状況なのか子どもに共通理解させることが大切であると考えた。そこで、事例を再現しているビデオ教材を見せて疑似体験させ、子どもたちに考えさせていった。子どもたちがケータイをあまり持っていない状況で、ケータイの使い方について考えさせるのは、ケータイへの興味を余計に高めることになるのではないかという意見もある。しかし、賢く上手な使い方を身につけさせる内容であれば、ケータイへの興味を高めることに直接つながらないように思う。この点は憶測で話を進めても結論がでないので、携帯電話を扱ったセミナーや情報モラルの授業後に子どもへのアンケート調査を行い、携帯電話を持ちたいという気持ちが高まったかどうかを調べてみる必要がある。このことは、ぜひ調査をおこない情報モラル教育を実施していくうえでの不安を解消しておきたい。

(2) 携帯電話の使い方のルールを作る

国府小学校では、子どもたちに携帯電話の使い方について家庭でのルールを作るワークショップを取り入れた。子どもたちは、大変積極的にルールづくりに取り組み、指導者が予想していたよりも熱心にルールを考えていた。ルールの内容としては、ケータイの使用時間についてのものが多かった。ルールを考えることは、ケータイの使い方についていろいろな場面を考えることになるので、総合的にケータイの使い方を考える上で有効であると感じた。

保護者もいっしょに参加している場合は、保護者にもルールを作ってもらい、子どもと保護者のルールの違いを比べてみる展開も子どもと保護者の考え方の違いがお互いにわかってよいと思う。

(3) 子どもの発言を取り上げる

また、事例を扱う中で、できるだけ子どもが発表する機会を多くするように意識してセミナーを進めた。時には子どもたちの中に入っていき指名して発言を求めることも行った。

子どもたちの発言を取り上げることよりセミナーの内容について子どもたちがどのように感じているのか知ることができ、セミナーの展開を微修正していった。

1.2 保護者向けセミナー

保護者を対象に、児童向けセミナーでは触れることができなかった実際のプロフや掲示板を見せることにより現実を理解してもらうように心がけた(図1)。

社会の現状から考えると子どもたちは携帯電話をいつか使うことになるので、単に禁止すれば問題が解決するというこ



図1 プロフの例

とではなく、危険を避けながら上手に使うことができる力を付けていくことが大切であるという方向で話を進めた。大人になれば、安全に上手に使うことができるようになるとは決して言えない。

大切なことは、家庭で子どもたちが携帯電話をどのように使っているのかについて保護者が関心をもつことである。携帯電話やインターネットの使い方について家庭でのルール・約束を考えることは、目的ではなく手段であるということ伝えていった（図2）。

また、情報モラル教育の構造は交通安全教育の構造と良く似ており守るための「法律」や「仕組み」が必要であるが、それだけでは自分を守ることができないので、自分で自分をどのように守るのかということを学んでいくことが必要になってくる（図3）。

家庭でのルールづくり

- ・家庭でのルールづくりは、相談する中で、保護者と子どもがケータイの使い方について話すことに意味がある。



図2 家庭でのルールづくり



図3 交通安全と情報モラル

2. 上越市立直江津中学校

2.1 生徒向けセミナー

全生徒を体育館に集めて行うセミナーであった。そのため、講義形式で進めていったが、この場合もできるだけ生徒の意見を聞く機会を多くとるように心がけた。

最初に、携帯電話やインターネットの便利な点を挙げ、しかし、気をつけていかなければならないこともあるという展開でセミナーに入っていた。このセミナーもテキストとともに「ネットいじめ」を扱った事例ビデオ教材を活用した。ビデオ教材を視聴している途中で、生徒たちの中に一瞬ざわめきが生じた。理由はわからなかったが、生徒たちの中で事例ビデオ教材と同じことが実際におきていたのではないかと感じた。全生徒がいっしょにセミナーを受けたため、子どもたちに細かな対応をすることは難しかった。しかし、生徒たちはセミナーに集中していたのでたいへんスムーズにセミナーを進めることができた。

やや安易ではあるが、セミナー内容の理解度を確認するために事例ワークシートを用意しておき、それぞれの事例についてどう対応するのか生徒に挙手や口頭で答えさせてまとめる方法も考えられる。

また、携帯電話に関しての多くの問題事例があるが、そのすべてを扱うことは到底できない。また、毎年新しい内容が加わってくる状況である。セミナーで扱った事例については、それに関連した事例にも生徒が応用力を働かせることができるように進めていった。

3. セミナーテキストと補完教材

今回は、共通体験をつくる手段として事例ビデオ教材を使用した。「ネット社会の歩き方」（Web サイト）等の教材を用いることもできる。「ネット社会の歩き方」は、従来から作られていたものでセミナーテキストとは特に関連づけられたものではない（図4、図5）。今後、「親子のためのネット社会の歩き方セミナーテキスト」の内容が「ネット社会の歩き方 Web サイト」に反映されてお互いが補完関係になっていくとセミナーや授業で活用する上で非常に効果的で

はないかと思われる。



図4 ネット社会の歩き方



図5 セミナーテキスト

1. テキストの修正

CEC の委員として2年目になった。昨年度はテキストの開発に関わらせていただいたが、今年度は、それを改善し修正することとなった。児童生徒向けは変えずに、保護者向けのテキストを大きく変更することとなり、自分の担当のページを検討することとなった。他の委員さんやCECの方たち、編集の皆さんの高い見識のおかげで、テキストの修正ができた。

テキストを使ったプレゼンをすることになっているので、保護者向けに、子供の実態や情報モラルの現状を踏まえた内容になるように心がけた。

2. 坂梨小学校の子どもたちとのセミナー

(1) 全国どこでも関心は高い

この時期、新型インフルエンザの流行が話題だったが、熊本の学校でも東京と同じように流行していて、全国津々浦々感染が広がっていることを実感した。実は、携帯電話やインターネットへの関心も似たところがある。熊本の子どもたちも東京の子どもたちと変わらない関心を示した。

昨年同様、テキストに入る前に、光と影の話をした。これは、往々にしてケータイやネットの影の部分が強調され、排除優先の気運が強い昨今に危惧を感じているからである。子どもたちが長じた時には、ケータイやネット社会は、必要不可欠なものになっているのは間違いないからである。子どもたちが大人になった時の社会は、ケータイやネット社会がないと生きていけない時代なのである。子どもたちには、もっと明るく、正しく、便利に使って欲しい、というスタンスでセミナーをした。

(2) 3つのポイント

昨年度同様、テキストを3つに分類して活用した。ただ順番にページを追ってだけでなく、わかりやすいポイントを軸にしようと考えたのである。そこで、テキストの内容をKJ法で分類して、最終的に3つのグループに分けた。

顔は見えない(匿名性の危険)

使い方を知ろう(知らないことで巻き込まれる危険)

だめなものはだめ(実社会でだめなものはネット社会でもだめ)

(3) 立派だった子どもたち

子どもたちのセミナーは教室で行った。授業参観も兼ねていたので、十人くらいの保護者が参観していた。6年生だったが、皆とても熱心に参加し聞いてくれた。私の話が中心だったが、発表する場面や書く場面もあった。聞くことだけでなく、書いたり発表したりすることにも熱心だった。立派な学級経営をしてくれた担任のおかげで、セミナー講師としては、とてもやりやすかった。よく聞いてくれた子どもたちに心より感謝すると共に、子どもたちの心を引きつけた素晴らしい仕様のテキストに感謝したい。

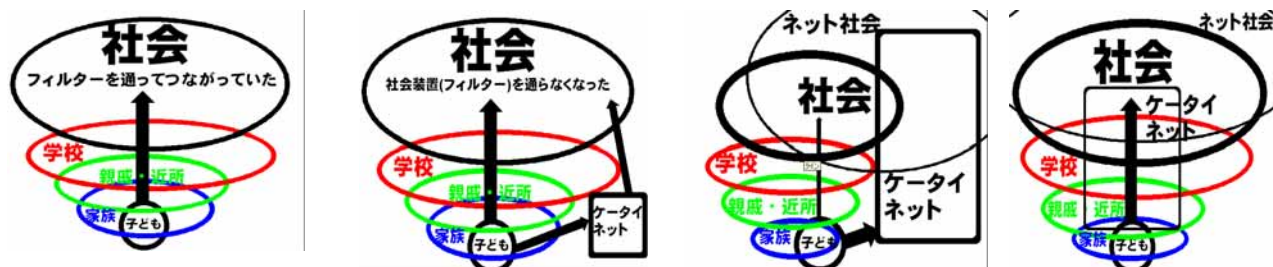
3. 坂梨小学校の保護者とのセミナー

(1) ネット社会の図

保護者向けのセミナーでは、テキストに入る前にネット社会の説明をした。その折りに、ネット

社会の図を提示して説明をした。是非、人のネットワークの中に、ケータイやネット社会を取り戻そうというアピールをした。

人のフィルターの社会 社会装置を通らなくなった ケータイ・ネットが中心に ケータイ・ネットを社会装置に組み込む



(2) 透明人間症候群

ケータイやネット社会は姿形が見えない透明人間のようなものである。ところが、人間が見えなくなると仮定すると何をしたいと問うと、出てくるのは悪いことばかりである。良いことなど一つも出てこないのである。人間の性ではないかとも思うのである。この透明性は、ケータイやネットの匿名性に通じるところがある。現象として既に現れているのである。これを「透明人間症候群」として、子どもたちや保護者のセミナーで紹介している。ケータイ・ネット社会の匿名性・秘密性は人間の悪の部分、魔の部分を引き出すツールなのである。

(3) 熱心だった保護者の皆様

昨年もそうだったが、保護者の皆様は、子どもたちのセミナーを参観してから保護者向けのセミナーに参加すると思っていたが、子どもたちが帰ってから別にすることになっていた。勤務校は東京都、昨年のセミナーは埼玉県、今年は熊本県だったが、関心の高さは変わらなかった。保護者向けのテキストは、児童生徒向けのテキストに保護者向けを追加してあるので、児童生徒向けのテキストも一緒に見られるようになっている。家庭で、親子でテキストを見て話し合ってもらおうようお願いした。授業参観から参加している人たちもいて、保護者の皆様も、子どもたちと同様で、とても熱心に参加されていた。

4. 勤務校でのセミナー

昨年度と同様に自分の学校でも校長としてセミナーを開くことにした。今年度は、5年生の授業の一環としてセミナーを実施した。テキストはなかったが、セミナー用のプレゼンを利用して、ワークシートなどを工夫した。プレゼンがテキストを下地として作ってあるので、内容がまとまっていて、子どもたちは、よく学習してくれていた。

また、全校朝会でも、昨年と同様に情報モラルについて話をして啓発に努めた。内容はテキストからいくつか選んで話をした。

5. 感想と課題

昨年度の1時間のセミナーでは内容が多すぎてかえってわかりにくいという感想を生かして、内

容を少し減らした。60分バージョンを45分にした。しかし、テキストが内容豊富なので限界がある。せっかくのテキストである、どうしても少しでも触れたいと考えたが、残しておいて、残りを当該学校の担当者が行う方法も良いと思う。

昨年同様、私自身が大変勉強になり、刺激になった。本校の「情報モラルセミナー」の実施や「情報モラル年間指導計画」の作成も可能となった。この事業に参加させてもらったおかげと感謝している。

1. 2年目の事業を終えて

テキスト作りからスタートした1年目と異なり、改定版作成後に速やかに各地でセミナー実施できたことは、事務局・委員の双方にとって負担が軽減され、充実感のある2年目であった。

私自身は昨年度、並み居る専門家の間で右往左往しながら、「通信事業者の社員としての責任感」、「小学校高学年の子を持つ親としての共感」、「政府によるICT利活用施策への従事経験」といったところから、委員会の中に自分の居場所を見つけ、役割を果たすのが精一杯であった。幸い2年目は、セミナー用にスライド作成する余裕が生まれ、訪問した学校での温かい聴講姿勢にも励まされ、昨年度以上の達成感を得ることができた。

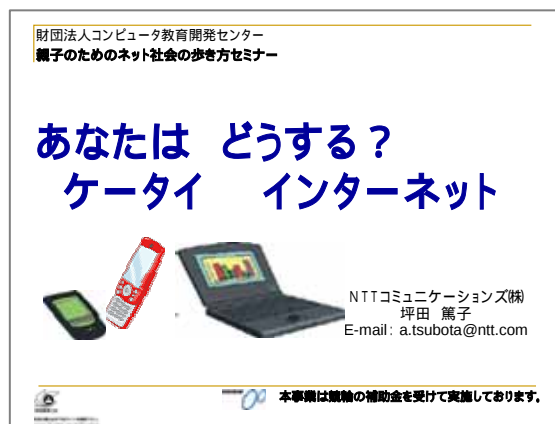


図1 セミナー用テキストの表

2. 親子セミナー会場にて

企業人にとってこのようなセミナー講師として学校に招いていただき、校長先生、教諭、また教委の方々から日頃の問題意識、セミナー招致に至った理由、実施効果への期待をお聞きするのは、めったにない機会が刺激的である。いずれの学校でも限られた保護者来校日に親子セミナーを組み込んだり、多くの保護者を呼び込もうとPTAに声掛けていただいたりするなど多くの協力を得ており、先生方の熱意に頭が下がる思いであった。

「今日は他所の人から話聞く日だね?」といった神妙な雰囲気の中で講堂に集まった子ども達の様子や、それを後方で見守る保護者の様子も、日頃大人相手の折衝やデスクワーク中心の私にとって新鮮である。子ども達が退屈しないようイラスト・写真を多用したスライドを作成したり、クイズ形式の原稿を考えたり、保護者には具体的事例を理解しやすいようスライドを工夫するなどして、会場で一定の効果があったことを確認できるとうれしく感じた。

スライドは特に、「もし自分が保護者としてセミナーを受講する立場だったら?」という視点で作成した。保護者によっては「子どものケータイの世界は全くわからない」「何かあったら怖いけど、正面から子どもに聞けない・言えない」あるいは、「それくらいもう知ってる」「我が家は大丈夫」まで、事情はそれぞれと思う。そのような中、保護者の皆さんがセミナー後に「色々わかった、勉強になった」と感じるより、「今後気をつけて子どもを見守りたい」「うちの子だけじゃなくて、同級生の子どもの様子も気に掛けてあげよう」という気持ちになってもらうことを目標に、対話形式で進行したつもりである。2会場ともよく目標を理解して下さり、何人もの保護者が各家庭のケータイ事情、ネット利用状況や今後気をつけたいことを発言下さった。子ども達はセミナーで取り上げた個々の事例は記憶が薄れたとしても、「講堂に集まって親子でケータイの話聞いたな」と時々思い出し、自身の態度を振り返ってもらう機会となればうれしい。

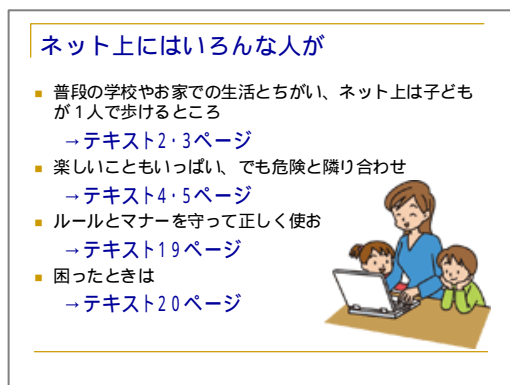


図2 子ども向け 結びのスライド

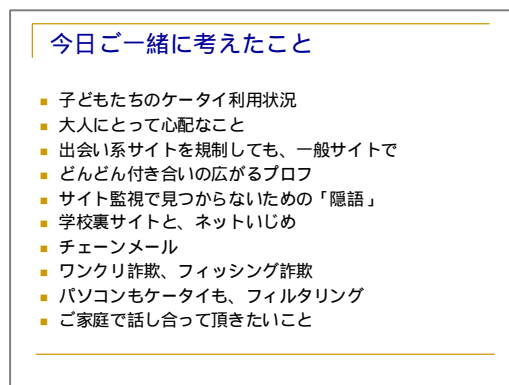


図3 保護者向け 結びのスライド

3. テキストについて

子ども達にとってはマンガが多くて楽しく読めること、保護者にとってはチラシよりは冊子形式で、家庭内で保管し時々見たくなる装丁・ボリュームであることを目指し、昨年度版を改訂してセミナー会場で配布した。講堂集合時に子ども達が大事そうに冊子を持ち、ページを繰って隣の子達とにっこりしていた様子を思い出す。きっと帰宅して家族で話題にしてくれたかなと期待している。

会場で保護者に聞くと、テキストで紹介する事例について詳しく知らなかった方も多いようだったが、受講後は関連するニュースなどに対してアンテナが高くなり、我が家ならどうするかという視点で話題にして下さっているとうれしい。



図4 イラスト多用したテキスト

4. 今後への提言

昨年度にテキスト作成し、CECのWebサイトでダウンロード版を公開した後、いくつかの社会教育団体から「こういうテキストを待っていた」「学校で先生が情報モラルを扱う教材はあっても、その他の団体が子どもと保護者を集めて教えようとする、適切なものがなかった」と聞いた。専門家を呼び講演してもらうのではなく、地域の団体が自ら最新事例を学び講座を提供しようとする、本事業で作成したわかりやすく適切なボリュームのテキストは最適だということであった。

昨年度の実施報告書で、今後の課題として「改訂版テキスト」と「セミナー用教材」の提供が上がっており、改訂版テキストについては今年度達成することができた。セミナー用教材の提供については、以下の観点で検討の機会を待ちたいと思う。

(1) プログラムに応じた教材であること

実施時期、所要時間、講義形態（講演中心/体験型/グループ学習）、対象者（子ども/保護者/両者同席）

(2) 主催者・講師の準備度合いに配慮した教材であること

テキストを増刷し大量配布に備える、セミナー用スライドと講演の要点説明をセットで提供する、講演中に活用できる映像コンテンツ等を充実させる

(1) は H20・21 年度の実施結果から、プログラムを類型化し、それぞれに対して講師がどのような教材を用意して期待する成果を上げたか分析することが有効と考えられる。併せて、プログラム毎に主催者・事務局の準備作業を可視化することで、今後自主的にセミナー開催する団体にとって、準備負担を軽減できるものとする。これらは H20 年度実施報告書の今後の課題 「セミナーマニュアルの開発」として指摘済みで重複となるが、予算と労力が必要なことから今後の措置を期待する。

(2) も H20・21 年度でセミナー実施回数を重ね、各委員が自作スライドを改善してきたことから、H21 年度後半に着手が見込めたことであるが、実際は委員らが別な委託事業に従事したことにより、保留気味となってしまった。しかしながらこの委託事業は学校・地域における情報モラル指導者養成に関するものであり、そこでの教材開発は「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」にも還元できるものであるため、今後に機会を得て講演補助資料の開発につながりたいと思う。テキスト増刷と映像コンテンツの充実は、H20 年度実施報告書からの継続指摘となるが、今後予算が確保されることを強く希望する。

1 学校における情報モラル指導

情報モラル指導の必要性は、多くの学校で認識されるようになり取り組まれるようになってきている。これは、ケータイにまつわるトラブルが多く聞かれ、そこに子ども達が関わっていることが周知されてきたことによるものと思われる。

本来情報モラルの指導は、「情報社会を生きぬき、健全に発展させていく上で、すべての国民が身につけておくべき考え方や態度」を育てることにある。「情報モラル」指導実践キックオフガイドでは、その内容を「心を磨く情報倫理」と「知恵を磨く情報安全」とがあるとされているが、トラブル対応として情報安全に関心は集まっている状況もある。

平成 20 年に文部科学省で行われた調査「子どもの携帯電話等の利用に関する調査」

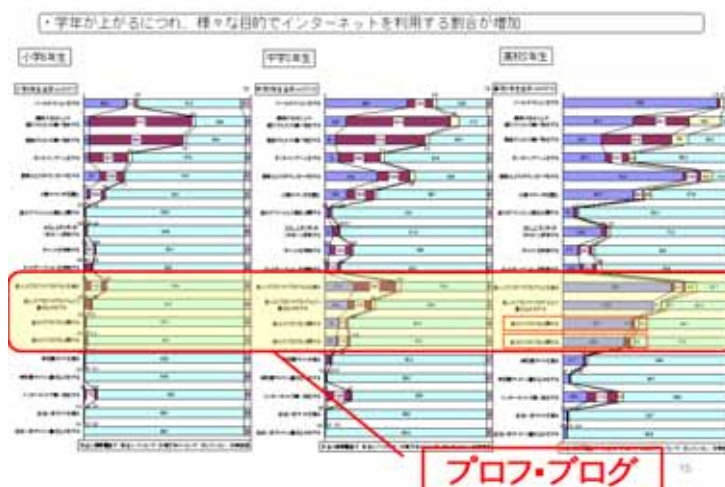
(http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/21/02/1246177.htm)では、ネットワーク利用が、パソコンではなくケータイが中心になり、プライベートでの利用が多くなっている。さらに、裏サイトや掲示板、プロフやブログ、リアル、SNS といったコミュニケーションサイトの利用も小学校から中学校、高校と徐々に利用が多くなり、特に高校になるとプロフやブログでの情報発信が急に多くなっている実態が明らかになっている。そして、そうしたコミュニティサイトでのトラブルが多く報道されるようになってきていることが、情報安全に関心が集まる原因であろう。

家に一人にいる時にケータイを使っているという状況、そして成長とともにコミュニティサイトの利用が多くなっていくという状況から、親の関わり方が大切であることが伝わってくる。インターネットやケータイというと、難しいとかよくわからないと避けてしまう大人と、大人には知られたくないと一人でケータイを使っている子どもとの関係を見直していく必要があるのではないだろうか。また、インターネットやケータイそのものに問題があるのではなく、その使い方

平日における子どもの携帯電話の利用場面



子どものインターネットの利用目的



を考えていくことが必要なのではないだろうか。ということ、この親子のためのネット社会の歩き方セミナーでは伝えようとした。

2 中学校でのセミナーを担当して

つくば市立谷田部東中学校と一宮市立南部中学校の 2 会場での親子のためのネット社会の歩き方セミナーを担当させていただいた。当日は、両校とも学校の公開日にあっており、授業参観の中での学年全員を対象とし、体育館で行われる授業であった。また、生徒向けのセミナーを保護者も参観するという形がとられていた。

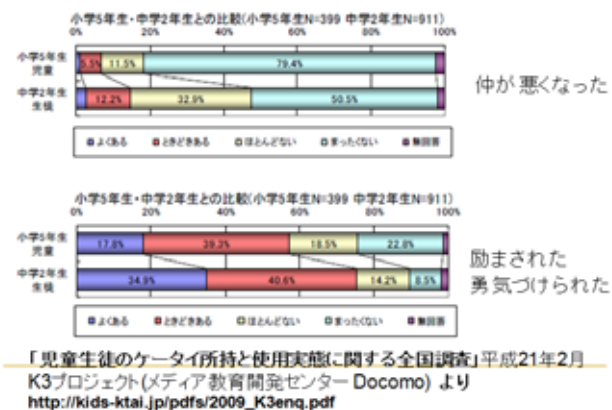
情報モラルの指導では、メディアや情報社会の特性を知り、日常のモラル・判断を基に、考えていくという形でよく行っているが、体育館に 100 名以上を対象にするということで、通常の授業とは異なる形態であった。セミナーテキストに沿って、説明をしていくということも考えられたが、単に説明をする講義形式では、身近な問題として考えるのは難しいと思われた。また、危険な面を示すだけにとどめず、ケータイやインターネットについて知り、よりよく活用していくことを考えていくようにと、講義形式だけではなく、メディアの利用や、情報社会で身の回りに起こる心配なことを取り上げ、情報社会やメディアの特性を説明した上で、問いかけて考える場面を作るようにした。

はじめに、メディアが身近なものであり、その影響の中で生活していることに気づかせ、確認をさせたところで、「ケータイを使うのはやめよう!」という話しではなく、「どう使うか」ということが今日の話であることを確認した。ケータイやインターネットの問題がよく取り上げられる理由には、まだ使われ初めて 10 年そこそこ、その間にも機能が増え、変化があり、まだ変化が続いている中で、社会の制度の整備や、使う人の合意などができあがっていないからではないか?そして、それを作っていくのが、今中学生のあなたたちであることを伝えるための話を組み立てた。

プロフやコミュニティサイトの事件やトラブルの例を示し、その背景にはネットワーク上のこうしたシステムの仕組みを理解することが必要で、誰かが利益を得ることがなければ、こうした無料のサービスは展開されつづけることはないということを考える場面を作った。

そして、そういったことを知り、気を付けることで身を守ることもできるが、中には、気を付け

ケータイとどうつきあわせるか



今日 話したこと

- ケータイは便利 でも 気をつけないと・
- できることと していいことを区別しよう
- **自己責任の世界** ケータイの契約は
- 普段の生活の場 と ケータイ・ネット
違うことと 同じことを考えよう
- 安全に 便利に **いい使い方を**
- **よい社会を作るのはあなたたち**



るだけでは防ぎようがないこともあることを示し、フィルタリングの仕組みとその機能についても説明をし、効果的にこうした仕組みを使うことが必要であることを伝えた。さらに、お互いに気持ちよく生活するためのマナーが、ケータイの利用の中にもあり、相手のことを考えてみることは、普通の生活の中のことと同じということにも気づかせたかった。

最後に、問題や課題が多いとされるケータイでも、実際には困ることよりも、役に立った経験をしている人の方が多いことをアンケートの結果から示し、「良い使い方をして、よりよい社会を作っていって欲しい」とまとめた。

3 セミナーを終えて

今回のセミナーでは、生徒向けと、保護者向けを同時に話したが、保護者にだけ知らせておきたいことを取り上げることは、難しかった。

1. 「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」の意義

昨年度からスタートしたこのセミナーの特徴の一つが「親子」というコンセプトである。ネット社会に対して親子がどのように関わっていくか、とりわけ親がどのような姿勢で子どもに関わるかがネット社会に関わっていく子どもにとって重要な鍵を握る。

子ども達の所有率が高まってきている携帯電話を通したネット社会の問題に関して、学校は基本的には関わりはない。というのも、携帯電話をいつ持たせるか、どのように使わせるかは家庭の判断にまかされており、また、携帯電話の学校への持ち込みは小中学校においては原則禁止となっているところが多いからである。さらには携帯電話の使い方や注意点など、学校教育の中で扱うことは必修とはなっていない。

しかしながら、現状では保護者が携帯電話の危険性を十分に知った上で、家庭の判断で子どもに持たせているところは少ない。そのため、使用のルールも決めていない家庭も多く存在する。一方で携帯電話に絡む事件や問題に子ども達も巻き込まれているのが現状である。

そのような状況において、学校が果たす役割として、子どもに対しては情報モラル教育、保護者に対してはネット社会の問題を啓発していく必要があるといえる。そのような視点からこの「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」は意義ある活動であると思う。

最近、ネット社会の問題について、生徒指導の視点から、警察のサイバー犯罪対策室の方を招聘し、講演をしてもらう学校が多くなってきた。必要に迫られてのことだとは思いますが、「学校の中に警察が介入する」ということは見方を変えれば異常事態である。それほどまで深刻になっていると言えばそれまでだが、学校という教育の場であれば、警察の手を借りる前にできる限り教育で対応していきたいものである。

そういった意味からも、警察の方を招聘してのセミナーよりも、このような教育関係者が関わるセミナーの方がより良いように思う。

2. 実施校の様子と感想

(1) 和歌山市立宮前小学校

教育委員会の方の話しでは、和歌山市はやや遅れているものの、和歌山県全体としては情報モラル教育に前向きに取り組んでいる地域のようなのである。

セミナーは6年生120名を対象に体育館で1時間ほど授業をした後、場所を変えて30人程度の保護者を対象に1時間ほど情報モラルに関する講義を行った。ちなみに体育館で行った授業に参加した保護者は数名であった。学校側の説明では数日前に保護者がたくさん集まるイベントがあり、そこにセミナーをあてる予定だったが、日程変更となったためにセミナーの参加者が少なくなってしまったとのことであった。

まとめ

1 コミュニケーション

- ・文字情報の特性
- ・ネットを通した友達関係

2 ネット被害

- ・個人情報
- ・出会い系サイト

3 情報発信の責任

- ・責任ある発信
- ・思いやりのある発信

4 依存症

- ・ケータイ依存
- ・日常生活とのバランス

図1 小学生用「まとめ」のスライド

まず、体育館で行った児童向けのセミナーであるが、小学生ということもあったので、できるだけ飽きずに参加できるよう、具体的な事例や「ネット社会の歩き方」のアニメーションなどを織り交ぜ、図1にあるように、コミュニケーション、ネット被害、情報発信の責任、依存症の4つの項目に分けて授業形式で進めた。これは本セミナーの委員会で本年度作成した「そのとき、キミならどうする!？」の携帯電話用ネット展開用リーフレットをもとに学習指導項目を構成したものだ。後で思ったことであるが、このネット展開用リーフレットも授業の中に盛り込んでも良かったのではないかと感じた。

内容的には問題点を効率良く網羅的に扱えたように思うが、全体的に最後に「～に気をつけよう」というものが多くなり、単調になってしまった。今後はもう少し内容や進め方に変化を持たせたり、子ども達が驚くようなデータや投げかけを工夫してみたい。

次に、保護者を対象に行ったセミナーでは図2にある項目にそって1時間程の講義を行った。

「子ども達を取り巻くネット社会の諸問題」では、実際にネット社会でおきた諸問題の新聞記事のタイトル一覧を示した。これは実態を把握させる上では有効であったと思う。

「ネット社会における諸問題の対策」の項目では、平成20年に文部科学省が行った「子どもの携帯電話等の利用に関する調査」結果を示し、家庭での対策の必要性和具体的な対策例を紹介した。全体を通し、どの保護者も真剣に聞いていた。

(2) 豊田市中心部からさらに奥に入ったのどかな場所にあった。セミナー当日は土曜日であったが、学年保護者の奉仕活動日ということで多くの3年保護者と生徒と一緒に、校内の清掃やペンキ塗りなどの奉仕作業を行っていた。保護者の参加率の高さと意外に父親の参加が多いのに驚かされた。

セミナーはその奉仕作業の後、体育館で生徒及び保護者が同席のもとで行った。事前に、セミナーの中で「親子が話し合える場を設定して欲しい」との要望があったので、保護者同席であることは承知していたが、体育館では生徒のすぐ横に保護者が座る形で椅子が並べられていた。確かにこの形でなければ親子が話し合うことは難しくなる。

セミナーには生徒70名に対し、保護者は48名と7割近くの参加者であった。

椅子も整然と並べられ、となりに保護者もいたせいか、聞く姿勢も大変素晴らしかった。

セミナーは図3の項目で行い、内容は子どもと保護者が同時に聞くことを考慮したものとした。

「ネット社会への主体的な対応」においては、

「ネット社会への主体的な対応」においては、

本日の内容

- 1 ネット社会の特性
- 2 子ども達を取り巻く
ネット社会の諸問題
- 3 携帯電話に関する子ども達の実態
- 4 ネット社会における諸問題の対策
- 5 トラブルに巻き込まれたときの対応

図2 保護者用「導入」のスライド

本日の内容

- 1 データからみるネット社会の現状
- 2 子ども達を取り巻く
ネット社会の諸問題
- 3 ネット社会への主体的な対応
～具体的な事例を通して～
- 4 トラブルに巻き込まれないために

図3 親子用「導入」のスライド

子ども達に「情報発信と自己責任」及び「被害に遭ってしまったときの対応」について具体的な事例を通して考えさせた。

「トラブルに巻き込まれないために」のところでは、家庭でのコミュニケーションの大切さ、家庭でのルール作りの大切さを確認した後、保護者がきていない子どもへ配慮しつつ、となり同士で座っている親子で家庭でのルール等に関して話し合わせる時間をとった。

親子で話し合わせることで、ネット社会の問題を共有でき、大変有意義なセミナーになったように感じた。

3．セミナーを終えて

このセミナーは「親子」とあるように、児童生徒及び保護者の双方が関わるのが条件となっている。関わり方は前者の学校の形式が一般的だが、後者の学校の形式の方が親子セミナーとしては理想的な形のように感じた。ただ、これを実現するには保護者の参加率が高いことが前提条件となるため、残念ながら実現させるためのハードルは高いと言わざるを得ない。

このセミナーのように外部講師を呼ぶとイベント的になってしまい、それで「情報モラル教育」が完結したようになってしまってはよくない。このセミナーが、その学校の情報モラル教育のきっかけになるようになってもらいたいと願う。そのためにもセミナーの後、情報教育担当者と今後の情報モラル教育の推進について話し合いができる時間が設定できると良いと思った。一方、保護者に対してはそう何度も行えるものではないので、このようなセミナーである程度完結できるような内容にするべきではないかと思う。

7. まとめ

7.1 本年度の成果

(1) セミナー教材の充実

本年度は、昨年度の成果と課題を受け、保護者向けテキスト部分を中心に大幅に改訂作業を行った。最新の状況を紹介する部分のデータをアップデートすると共に、保護者向けテキスト部分の内容に落ちや重なりがないように構成を全面的に見直し、よりセミナーの中で使いやすいものとした。

また、各委員が使用するプレゼンテーション教材も、昨年度の反省を生かして改訂していただき、より子どもたちや保護者の問題意識を喚起し、情報モラル教育について理解していただきやすいように改訂することができた。

(2) セミナープログラムの改善

本年度は、昨年度の反省を踏まえ、ワークショップなどの活動を積極的に取り入れ、「聞きっぱなし」とならないよう、セミナーの内容を工夫した。また、セミナーの時間が限られていることから、テキストを網羅的に扱うのではなく、情報モラル教育のポイントを中心に解説し、「内容が多すぎてわかりにくいという」ことのないよう留意して実施していただいた。これらの各委員の努力の結果、子どもたちからはもちろん、保護者からも大変高い評価をいただくことができた。

(3) セミナー以外でも使える「リーフレット」の開発

(2) で触れたようにセミナーの時間に限りがあることから、「情報モラル」の具体的な内容について、セミナーの時間内にすべてを扱うことは困難であり、セミナー受講前や受講後に利用できる教材が必要であった。また、近年、子どもたちが最も利用しているケータイに関する具体的な「情報モラル」の具体的な内容を網羅的に指導したいとのニーズがあるものの、そのような条件を満たす教材は、存在しなかった。

そこで、本委員会では、携帯電話に関する具体的な情報モラルの内容を網羅的に扱いつつ、短時間で利用でき、わかりやすい教材として、イラストを多用しゲーム性も盛り込んだ「ネット展開用リーフレット」を開発した。本リーフレットは、ネット上でそのまま利用できると共に、カミに印刷すると裏表印刷1枚に収まるようにして、授業や家庭で利用しやすいものとした。その結果、授業や家庭で利用していただき、さらなる「情報モラル教育」の充実へ向けての活用事例が増えてきた。

7.2 次年度へ向けての課題

(1) 開催地のさらなる増加・指導者研修の実施による「面」展開

平成21年度は開催地を平成20年度の2倍以上に当たる14カ所に増やすことができたが、全国レベルで言うと、まだまだ「点」の状況である。今後は、従来型の学校単位での開催の他、本年度上越市で開催した教員やPTA役員など核となる保護者、地域ボランティアを対象とした「指導者研修」も実施して自立展開可能とし、より多くの保護者・地域住民が参加できるようにして「面」展開させていくことが必要である。このような「面」展開としては、PTA連合会での主催や中学校区の小学校・中学校の共催、教育委員会による開催等も考えられる。

（２）自立展開支援のための教材提供

今後は、（１）の「面」展開を可能とするため、本委員会委員がセミナー講師を務めるだけでなく、各地域において、教員や保護者、地域ボランティアが「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」を自立展開できるように、そのための教材を提供していく必要がある。

今後提供を期待したい教材としては、教員向けを想定している Web 教材「ネット社会の歩き方」を全面改定して保護者や地域ボランティアも使用しやすいものとすることや最新の状況を反映した教材を提供したもの、セミナー用読み上げ原稿付きプレゼンテーション教材、ワークシート、発達段階や地域の状況・対象の状況に応じた複数のモデルプログラムなどが考えられる。

今後は、これらの教材を開発すると共に、実際にセミナー等で利用した評価を踏まえ改善したものを提供していくことが期待される。

< 付 録 >

1 . ネット展開用リーフレット

- ・カラー版リーフレット

2 . 調査票

- ・事前調査票

3 . アンケート質問票

- ・【 児童・生徒向け 】

- ・【 保護者向け 】

- ・【 指導者向け 】

- ・【 管理者向け 】

4 . アンケート集計結果

- (1) 全体実績

- (2) 小学校/児童生徒アンケート結果

- (3) 小学校/保護者アンケート結果

- (4) 中学校/児童生徒アンケート結果

- (5) 中学校/保護者アンケート結果

- (6) 小学校校長会セミナーアンケート結果

5 . 別添 セミナー用テキスト

- ・【平成21年度改訂版】親子のためのネット社会の歩き方 保護者用

事前調査票

平成 年 月 日

財団法人 コンピュータ教育開発センター
親子セミナー委員会 御中

報告者所属
役職 氏名

平成21年度「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」事前調査票
把握している範囲でお答えください。

開催校	
開催日時	平成21年 月 日 () 時 分 ~
・本セミナー申込みのきっかけとなった 動機、(あれば)出来事をご記入 ください。	
・今回セミナーを受講される児童・生徒 の家庭でのインターネット利用率はお およそどれくらいでしょうか。	・大体の位置に○をご記入ください。
・今回セミナーを受講される児童・生徒 の携帯電話の保有率はおおよそどれ くらいでしょうか。	・大体の位置に○をご記入ください。
・携帯電話保有者のフィルタリング 設定率はおおよそどれくらいでし ょうか。	・大体の位置に○をご記入ください。
・保護者から相談を受けた事例があり ましたら、ご記入ください。	

1. 児童・生徒向けアンケート

アンケートにご協力ください。【 児童・生徒向け 】

☐ にレ をつけてください。()内は自由に書いてください。

1. あなたの学年、性別は？

小学校:()年生 中学校:()年生

☐ 男子 ☐ 女子

2. あなたの知っていた言葉は？ (少し知っていることでもかまいません)

☐ ブログ ☐ プロフ ☐ チャット ☐ 掲示板サイト ☐ 学校裏サイト ☐ フィルタリング
☐ 2ちゃんねる ☐ 出会い系サイト ☐ ネットゲーム ☐ www ☐ URL ☐ プロトコル

3. あなたの家庭では、コンピュータやインターネットを使うことができますか。

☐ 使うことができる ☐ 使うことができない

4. 家庭でコンピュータやインターネットを使うときの約束を決めていますか。

☐ 決めている ☐ 決めていない
どのようなことですか { }

5. あなたは、家族で約束について話し合っていますか。

☐ よく話している ☐ たまに話す ☐ 話したことはない

6. あなたは携帯電話を持っていますか。

☐ 持っている [小学校()年生から、中学校()年生から] ☐ 持っていない

7. 持っている人は、主にどういう使い方をしていますか？ (6.で持っていると答えた方のみお答えください。)

{ }

8. あなたは、携帯電話の使い方について家族で約束を決めていますか。

☐ 決めている ☐ 決めていない
どのようなことですか { }

9. あなたは、家族で約束について話し合っていますか。

☐ よく話している ☐ たまに話す ☐ 話したことはない

10. あなたは携帯電話やインターネットを使っていて、いやな思いをしたことがありますか。

☐ ある ☐ ない ☐ わからない

いやな思いをしたことがある場合 { }
どんなことですか。

11. あなたの携帯電話にフィルタリングは設定していますか

☐ はい ☐ いいえ ☐ 設定していたが外した ☐ よくわからない

12. セミナーは楽しかったですか。

☐ とても楽しかった ☐ まあまあ楽しかった ☐ つまらなかった

13. セミナーは、携帯電話やインターネットの安全な使い方に役立つと思いましたか。

☐ 思った ☐ 思わない ☐ よくわからない

14. 困ったときは、親や先生に相談しようと思いましたか。

☐ 思った ☐ 思わない ☐ よくわからない

15. セミナーを聞いて、これからやってみようと思ったことは何ですか。

{ }

16. テキスト(冊子)はわかりやすかったですか。

☐ ちょうどよい ☐ むずかしい ☐ かんたんすぎる ☐ よくわからない

ありがとうございました。

2. 保護者向けアンケート

アンケートにご協力ください。【 保護者向け 】

このアンケートは、セミナーの改良のために参考にさせていただくもので、個人を特定するものではありません。

1. あなたの年齢、性別に、レをつけてください。

☐ 20歳代 ☐ 30歳代 ☐ 40歳代 ☐ 50歳代 ☐ 60歳代

☐ 男性 ☐ 女性

2. 今回セミナーに出席されたあなたのお子さんの学年と性別を記入してください。(複数可)

例:(小)学校(6)年生(男)子

()学校()年生()子 ()学校()年生()子 ()学校()年()子

3. あなたの知っていた言葉に、レをつけてください。(複数可)

☐ ブログ ☐ プロフ ☐ チャット ☐ 掲示板サイト ☐ 学校裏サイト ☐ フィルタリング
☐ 2ちゃんねる ☐ 出会い系サイト ☐ ネットゲーム ☐ www ☐ URL ☐ プロトコル

4. あなたの家庭では、お子さんがコンピュータやインターネットを使うことができる環境がありますか。

☐ 使うことができる ☐ 使うことができない ☐ わからない

5. 家庭でコンピュータやインターネットを使うときの約束を決めていますか。

☐ 決めている ☐ 決めていない
どのようなことですか

6. あなたは、コンピュータやインターネットを使うときの約束についてお子さんと話し合っていますか。

☐ よく話している ☐ たまに話す ☐ 話したことはない

7. あなたのお子さんに携帯電話を持たせていますか。

☐ 持たせている [小学校()年生から、中学校()年生から] ☐ 持たせていない

8. 携帯電話を持たせている方は、持たせている目的・理由は何ですか。

[]

9. 携帯電話を持たせている方は、あなたのお子さん一人あたりの使用料はどのくらいですか。

☐ 約()千円 ☐ ほとんど使っていない ☐ わからない

10. 携帯電話を持たせている方は、使い方について家族で約束を決めていますか。

☐ 決めている ☐ 決めていない
どのようなことですか

11. 携帯電話を持たせている方は、携帯電話を使うときの約束についてお子さんと話し合っていますか。

☐ よく話している ☐ たまに話す ☐ 話したことはない

12. あなたのお子さんは携帯電話やインターネットを使っていて、いやな思いをしたことがありますか。

☐ ある ☐ ない ☐ わからない

いやな思いをしたことがある場合
どんなことですか。

13. 子どもの携帯電話にフィルタリングを設定していますか

☐ はい ☐ いいえ ☐ 設定していたが外した ☐ よくわからない

14. セミナーについての印象はいかがですか。

☐ 良い ☐ 普通 ☐ つまらない

自由記述:

15. セミナーを受講して、これからすべきだと感じたことは何ですか。

[]

16. テキストについての印象はいかがですか。

☐ 良い ☐ 普通 ☐ つまらない

自由記述:

ありがとうございました。

3. 指導者向けアンケート

アンケートにご協力ください。【指導者向け】

このアンケートは、セミナーの改良のために参考にさせていただくもので、個人を特定するものではありません。

1. あなたの年齢、性別に、レをつけてください。

☐ 20歳代 ☐ 30歳代 ☐ 40歳代 ☐ 50歳代 ☐ 60歳代

☐ 男性 ☐ 女性

2. 今回セミナーに出席されたあなたの担当学年を記入してください。(複数可)

例:(小)学校(6)年生

()学校()年生 ()学校 担当学年なし(担任外・専科・養護教諭等) ()学校 校長・副校長・教頭

3. あなたの知っていた言葉に、レをつけてください。(複数可)

☐ ブログ ☐ プロフ ☐ チャット ☐ 掲示板サイト ☐ 学校裏サイト ☐ フィルタリング
☐ 2ちゃんねる ☐ 出会い系サイト ☐ ネットゲーム ☐ www ☐ URL ☐ プロトコル

4. あなたの学校では、お子さんがコンピュータやインターネットを自由に使うことができますか。

☐ 使うことができる ☐ 使うことができない ☐ 一定の条件下で使える

5. 学校でコンピュータやインターネットを使うときの約束を決めていますか。

☐ 決めている ☐ 決めていない
どのようなことですか []

6. あなたは、情報モラル教育をこれまでどの程度行った経験がありますか。

☐ 3回以上実施している ☐ 1,2回実施したことがある ☐ 実施したことはない

7. あなたの学校では、児童生徒に携帯電話の持ち込みを認めていますか。

☐ 認めている ☐ 認めていない

8. 携帯電話の持ち込みを認めている学校は、認めている理由は何ですか。

[]

9. あなたの学校の携帯電話所有率は、最上級学年で、何パーセントくらいだと思いますか。

☐ 約()%

10. 携帯電話の持ち込みを認めている学校は、使い方・許可条件について規則を決めていますか。

☐ 決めている ☐ 決めていない
どのようなことですか []

11. 携帯電話に関する規則について、児童生徒との話し合いの場を設けていますか。

☐ よく設けている ☐ たまに設けている ☐ 設けたことはない

12. あなたの学校では、携帯電話やインターネットによるいじめなどの問題、犯罪被害等がありますか。

☐ ある ☐ ない ☐ わからない

ある場合、

どんなことですか。 []

13. 携帯電話のフィルタリング設定等、情報モラルに関して保護者に啓発する行事を行っていますか。

☐ 行っている ☐ 行っていない ☐ 行う予定 ☐ よくわからない

14. セミナーについての印象はいかがですか。

☐ 良い ☐ 普通 ☐ 要改善

自由記述: []

15. セミナーを受講して、これからすべきだと感じたことは何ですか。

[]

16. テキストについての印象はいかがですか。

☐ 良い ☐ 普通 ☐ 要改善

自由記述: []

ありがとうございました。

4. 管理者向けアンケート

アンケートにご協力ください。【 管理職向け 】

このアンケートは、セミナーの改良のために参考にさせていただくもので、個人を特定するものではありません。

1. あなたが管理職(校長・副校長・教頭)になって何年目ですか？

☐ 1年目 ☐ 2年目 ☐ 3～5年目 ☐ 6～10年目 ☐ 10年目以上

☐ 男性 ☐ 女性

2. 今回セミナーに出席されたあなたの担当学校種、職名(校長・副校長・教頭等)を記入してください。

例:(小)学校 役職(校長)

学校種()学校 職名()

3. あなたの知っていた言葉に、レをつけてください。(複数可)

☐ ブログ ☐ プロフ ☐ チャット ☐ 掲示板サイト ☐ 学校裏サイト ☐ フィルタリング
☐ 2ちゃんねる ☐ 出会い系サイト ☐ ネットゲーム ☐ www ☐ URL ☐ プロトコル

4. あなたの学校では、お子さんがコンピュータやインターネットを自由に使うことができますか。

☐ 使うことができる ☐ 使うことができない ☐ 一定の条件下で使える

5. 学校でコンピュータやインターネットを使うときの約束を決めていますか。

☐ 決めている ☐ 決めていない
どのようなことですか ()

6. あなたの学校では、在任中、情報モラル教育研修をこれまでどの程度行った経験がありますか。

☐ 3回以上実施している ☐ 1, 2回実施したことがある ☐ 実施したことはない

7. あなたの学校では、児童生徒に携帯電話の持ち込みを認めていますか。

☐ 認めている ☐ 認めていない

8. 携帯電話の持ち込み認めている学校は、認めている理由は何ですか。

()

9. あなたの学校の携帯電話所有率は、最上級学年で、何パーセントくらいだと思いますか。

☐ 約()%

10. 携帯電話の持ち込みを認めている学校は、使い方・許可条件について規則を決めていますか。

☐ 決めている ☐ 決めていない
どのようなことですか ()

11. 携帯電話に関する規則について、児童生徒との話し合いの場を設けていますか。

☐ よく設けている ☐ たまに設けている ☐ 設けたことはない

12. あなたの学校では、携帯電話やインターネットによるいじめなどの問題、犯罪被害等がありますか。

☐ ある ☐ ない ☐ わからない

ある場合、

どんなことですか。 ()

13. 携帯電話のフィルタリング設定等、情報モラルに関して保護者に啓発する行事を行っていますか。

☐ 行っている ☐ 行っていない ☐ 行う予定 ☐ よくわからない

14. セミナーについての印象はいかがですか。

☐ 良い ☐ 普通 ☐ 要改善

(自由記述:)

15. セミナーを受講して、これからすべきだと感じたことは何ですか。

()

16. テキストについての印象はいかがですか。

☐ 良い ☐ 普通 ☐ 要改善

(自由記述:)

ありがとうございました。

アンケート集計結果

(1) 全体実績

アンケートは小学校 8 校、中学校 4 校の 12 校、教育委員会 1 力所、学校長会 1 力所、計 14 力所の児童生徒、PTA 等保護者、指導主事及び管理職である学校長に対し実施した。

児童生徒	参加者数	回収数	有効回答数	有効回答率 %
小学校児童	670	617	617	100%
中学校生徒	980	945	945	100%
計	1,650	1,562	1,562	100%

保護者	参加者数	回収数	有効回答数	有効回答率 %
小学校保護者	402	294	294	100%
中学校保護者	141	121	121	100%
計	543	415	415	100%

指導主事	参加者数	回収数	有効回答数	有効回答率 %
指導主事	32	8	8	100%

学校長	参加者数	回収数	有効回答数	有効回答率 %
学校長	45	42	42	100%

(2) 小学校/児童生徒アンケート結果

回答者プロフィール (小学校児童)

小学校 1 年	小学校 2 年	小学校 3 年	小学校 4 年	小学校 5 年	小学校 6 年	未回答	計
2	0	0	1	37	577	0	617

	小学校児童 回答数	%
男子	311	50.4
女子	289	46.8
未回答	17	2.8
計	617	100.0

問 2 . あなたの知っている言葉は？（複数回答あり）

小学校児童	ブログ	ブログ	チャット	掲示板 サイト	学校裏 サイト	フィルタ リング	2ちゃん ね	出会い 系サイト	ネットゲ- ム	WWW	URL	プロトコル
男子 311名	267	104	179	173	188	59	91	172	249	83	40	11
%	85.9	33.4	57.6	55.6	60.5	19.0	29.3	55.3	80.1	26.7	12.9	3.5
女子 289名	261	159	151	182	171	42	76	223	205	44	39	0
%	90.3	55.0	52.2	63.0	59.2	14.5	26.3	77.2	70.9	15.2	13.5	0.0
男女不明 17名	6	1	2	3	0	0	0	2	3	0	0	0
計 617名	534	264	332	358	359	101	167	397	457	127	79	11
%	86.5	42.8	53.8	58.0	58.2	16.4	27.1	64.3	74.1	20.6	12.8	1.8

問 3 . あなたの家庭では、コンピュータやインターネットを使うことができますか。

小学校児童	回答数	%
使うことができる	435	71.0
使うことができない	168	27.4
未回答	14	2.3
計	617	100.7

問 4 . 家庭でコンピュータやインターネットを使うときの約束を決めていますか。

小学校児童	回答数	使うことができる 435名 %
約束を決めている	154	35.4
約束を決めていない	279	64.1
未回答	2	0.5
計	435	100.0

問 5 . あなたは、家族で約束について話し合っていますか。

小学校児童	回答数	使うことができる 435名 %
よく話している	26	6.0
たまに話す	259	59.5
話したことはない	132	30.3
未回答	18	4.1
計	435	100.0

問 6 . あなたは携帯電話を持っていますか。

小学校児童	回答数	%	持った学年	回答数	持っている 156名 %
持っている	156	25.3	小学校 1 年	0	0.0
			小学校 2 年	0	0.0
			小学校 3 年	0	0.0
			小学校 4 年	0	0.0
			小学校 5 年	12	7.7
			小学校 6 年	143	91.7
			未回答	1	0.6
持っていない	447	72.4			
未回答	14	2.3			
計	617	100.0			

問 7 . 携帯電話は何が便利ですか。持っている人は、主にどういう使い方をしていますか？

(主な自由記述)

- ・塾や習い事の帰りなど、家族に電話する。
- ・緊急の時家族への連絡。
- ・友達に電話する。
- ・メール
 - 親にメール。
 - 友達にメール。
- ・目覚まし。
- ・動画や音楽を見たり聴いたりする。
- ・動画や音楽をダウンロードする。
- ・ゲームをする。
- ・Webを見る。
- ・カメラ。
- ・電卓。
- ・辞典。

問 8 . あなたは、携帯電話の使い方について家族で約束を決めていますか。

小学校児童	回答数	持っている 156名 %
約束を決めている	72	46.2
約束を決めていない	82	52.6
未回答	2	1.3
計	156	100.0

問 9 . あなたは、家族で約束について話し合っていますか。

小学校児童	回答数	持っている 156名 %
よく話している	14	9.0
たまに話す	97	62.2
話したことはない	41	26.3
未回答	4	2.6
計	156	100.0

問 10 . あなたは携帯電話やインターネットを使っていていやな思いをしたことがありますか。

小学校児童	回答数	617名 %
ある	34	5.5
ない	423	68.6
わからない	94	15.2
未回答	66	10.7
計	617	100.0

○問１０．で「いやな思いをしたことがある」と回答された方の主な自由記述

- ・迷惑メールが来た。
- ・荒らされた。
- ・呪いの手紙が来た。
- ・自分のブログ内で、好きな芸能人の悪口を書かれた。
- ・自分の好きなキャラクターがバカにされてた。
- ・自分の悪口を書かれた。
- ・知らない人から変なメールが来た。
- ・チャットで「死ね」などの暴言を書かれた。
- ・インターネットのチャットでいきなり暴言を言われた。
- ・「Wi i があたる」というので応募したところ迷惑メールがたくさん来た（今も）。
- ・インターネットで動画を見ていたらウイルスに感染した。
- ・調べているときとかに何もしてないのに変な画面が出る。

問１１．セミナーは楽しかったですか。

小学校児童	回答数	617名 %
とても楽しかった	238	38.6
まあまあ楽しかった	295	47.8
つまらなかった	62	10.0
未回答	22	3.6
計	617	100.0

問１２．セミナーは、携帯電話やインターネットの安全な使い方に役立つと思いましたか。

小学校児童	回答数	617名 %
思った	503	81.5
思わない	20	3.2
よくわからない	75	12.2
未回答	19	3.1
計	617	100.0

問１３．困ったときは、親や先生に相談しようと思いましたか。

小学校児童	回答数	617名 %
思った	454	73.6
思わない	53	8.6
よくわからない	94	15.2
未回答	16	2.6
計	617	100.0

問１４．セミナーを聞いて、これからやってみようと思ったことはありますか。それは何ですか。

（主な自由記述）

- ・家族で約束について話合う。
- ・家族と携帯電話について使い方を話し合う。

- ・親と約束を決めてからインターネット等を使おうと思った。
- ・今日セミナーで習った事を親に教える。
- ・自分のケータイの使い方を見直す。
- ・フィルタリングについて親に聞こうと思った。
- ・フィルタリングをして安全に使いたい。
- ・迷惑メールが来ないように設定する。
- ・インターネットは親のいるところで使う。
- ・ブログに相手を傷つけることは書かない。
- ・冗談で人生が変わると思った。
- ・相手のことを考えて、言葉に気をつけようと思った。
- ・ケータイとかで友だちをいじめない。
- ・よく考えてから掲示板に書き込む。
- ・ふざけて「ポテト」など打っていたけど、いけないことだと知りました。
- ・わからない事があったら、親に相談する。
- ・いじめに遭ったときは相談する。
- ・むやみに住所を教えない。
- ・ルールをしっかり守る。
- ・ウィルス対応ソフトを入れる。
- ・チェーンメールが送られてきても無視する。
- ・変なメールがきたら家族に相談する。
- ・裏サイトや闇サイトには行かない。
- ・友だちの写真を勝手にみんなに見せない。
- ・携帯電話の使う時間を減らそうと思った。
- ・携帯電話やインターネットを使うとき被害者や加害者にならないように気をつける。
- ・有料のサイトには入らない。
- ・不審なサイトには手を出さない。
- ・ブログをやってみたい。
- ・インターネットを甘く見ないでいろいろやってみようと思う。
- ・自分の個人情報が出ない程度にインターネットを楽しく安全に使う。
- ・もし「詐欺」や「いじめ」にあったらパンフレットに載ってる番号に電話してみようと思う。

問 15 . テキスト (冊子) はわかりやすかったですか。

小学校児童	回答数	617名 %
ちょうどよい	496	80.4
むずかしい	25	4.1
かんたんすぎる	32	5.2
よくわからない	46	7.5
未回答	18	2.9
計	617	100.0

(3) 小学校/保護者アンケート結果

プロフィール（小学校保護者）

年齢

回答者数	人	内訳	年代	人
20代	10	男性 43名	20代	2
30代	95		30代	12
40代	145		40代	19
50代	31		50代	10
60代	2		60代	0
未回答	10	女性 222名	20代	6
			30代	81
			40代	116
			50代	17
			60代	2
		男女不明		28
回答者計	293	回答者計		293

今回セミナーに出席されたあなたのお子さんの学年（小学校保護者）

学年	小学校
1年	19
2年	16
3年	22
4年	13
5年	38
6年	132
未回答	53
合計	293

今回セミナーに出席されたあなたのお子さんの性別（小学校保護者）

性別	小学校
男子児童	121
女子児童	113
未回答	59
合計	293

問3．あなたの知っている言葉は？（年齢別／複数回答あり）

小学校保護者	ブログ	ブログ	チャット	掲示板 サイト	学校裏 サイト	フィルタ リング	2ちゃん ね	出会い 系サイト	ネットゲ ーム	WWW	URL	プロトコル
20代 10名	10	6	10	9	10	8	10	10	8	6	10	0
%	100.0	60.0	100.0	90.0	100.0	80.0	100.0	100.0	80.0	60.0	100.0	0.0
30代 95名	91	54	81	73	66	52	53	91	78	51	58	9
%	95.8	56.8	85.3	76.8	69.5	54.7	55.8	95.8	82.1	53.7	61.1	9.5
40代 147名	142	137	115	114	105	95	95	138	118	70	83	28
%	96.6	93.2	78.2	77.6	71.4	64.6	64.6	93.9	80.3	47.6	56.5	19.0
50代 31名	30	15	27	25	27	26	18	30	22	12	6	6
%	96.8	48.4	87.1	80.6	87.1	83.9	58.1	96.8	71.0	38.7	19.4	19.4
60代 2名	1	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0
%	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢不明 10名	8	6	5	6	7	4	5	7	7	3	1	0
計 293名	282	218	239	227	216	186	182	276	233	142	158	43
%	96.2	74.4	81.6	77.5	73.7	63.5	62.1	94.2	79.5	48.5	53.9	14.7

問3．あなたの知っている言葉は？（男女別／複数回答あり）

男子児童保護者

小学校 男子児童保護者	ブログ	ブログ	チャット	掲示板 サイト	学校裏 サイト	フィルタ リング	2ちゃんね る	出会い 系サイト	ネットゲ ーム	WWW	URL	ブログ
男性 13名	13	8	13	13	10	11	11	13	12	10	10	7
%	100.0	61.5	100.0	100.0	76.9	84.6	84.6	100.0	92.3	76.9	76.9	53.8
女性 100名	95	60	82	79	74	62	66	97	87	52	58	13
%	95.0	60.0	82.0	79.0	74.0	62.0	66.0	97.0	87.0	52.0	58.0	13.0
男女不明 8名	7	4	6	6	5	5	6	6	6	3	5	0
計 121名	115	72	101	98	89	78	83	116	105	65	73	20
%	95.0	59.5	83.5	81.0	73.6	64.5	68.6	95.9	86.8	53.7	60.3	16.5

女子児童保護者

小学校 女子児童保護者	ブログ	ブログ	チャット	掲示板 サイト	学校裏 サイト	フィルタ リング	2ちゃんね る	出会い 系サイト	ネットゲ ーム	WWW	URL	ブログ
男性 13名	13	9	13	10	7	12	11	12	12	9	1	5
%	100.0	69.2	100.0	76.9	53.8	92.3	84.6	92.3	92.3	69.2	7.7	38.5
女性 94名	91	53	70	70	67	50	49	89	67	42	48	9
%	96.8	56.4	74.5	74.5	71.3	53.2	52.1	94.7	71.3	44.7	51.1	9.6
男女不明 6名	6	3	2	2	4	2	2	5	3	1	2	0
計 113名	110	65	85	82	78	64	62	106	82	52	51	14
%	97.3	57.5	75.2	72.6	69.0	56.6	54.9	93.8	72.6	46.0	45.1	12.4

問4．あなたの家庭では、お子さんがコンピュータやインターネットを使うことができる環境
がありますか。

小学校保護者	回答数	293名 %
使うことができる	214	73.0
使うことができない	65	22.2
わからない	0	0.0
未回答	14	4.8
計	293	100.0

問5．家庭でコンピュータやインターネットを使うときの約束を決めていますか。

小学校保護者	回答数	使うことができる
約束を決めている	131	61.2
約束を決めていない	79	36.9
未回答	4	1.9
計	214	100.0

問6．あなたは、コンピュータやインターネットを使うときの約束についてお子さんと話し合
っていますか。

小学校保護者	回答数	使うことができる
よく話している	32	15.0
たまに話す	141	65.9
話したことはない	41	19.2
未回答	0	0.0
計	214	100.0

問 7 . あなたのお子さんに携帯電話を持たせていますか。

小学校保護者	回答数	%	持った学年	回答数	持たせている 79名 %
持たせている	79	27.0	小学校 1 年	6	7.6
			小学校 2 年	5	6.3
			小学校 3 年	6	7.6
			小学校 4 年	14	17.7
			小学校 5 年	10	12.7
			小学校 6 年	4	5.1
			未回答	34	43.0
持たせていない	195	66.6			
未回答	19	6.5			
計	293	100.0			

問 8 . 携帯電話を持たせている方は、持たせている目的・理由は何ですか。の主な自由記述

- ・塾、習い事関係で連絡がとれるように。
- ・塾など迎えに行くのに便利。
- ・塾に通うときの防犯。
- ・放課後の居場所の確認。
- ・GPS 機能を使うため。
- ・親との連絡用。
- ・共働きのため連絡手段として。安心のため。
- ・学校のクラブに所属のため帰宅時間等の連絡用。
- ・友達付き合いのため。

問 9 . 携帯電話を持たせている方は、あなたのお子さん一人あたりの使用料はどのくらいですか。

小学校保護者 携帯電話使用料		持たせている 79名 %
2,000～3,000	18	22.8
4,000	3	3.8
5,000	7	8.9
6,000	6	7.6
7,000～8,000	10	12.7
9,000	0	0.0
10,000～20,000	10	12.7
基本料金	2	2.5
未回答	23	29.1
計	79	100.0

問 10 . 携帯電話を持たせている方は、使い方について家族で約束を決めていますか。

小学校保護者	回答数	持たせている 79名 %
使い方を決めている	64	81.0
使い方を決めていない	11	13.9
未回答	4	5.1
計	79	100.0

- 「使い方を決めている」と回答されたかたの主な自由記述
 - ・塾の送迎など出かけた時の連絡のため。
 - ・親との連絡用。
 - ・緊急時のみ使用する。
 - ・着メロ・着うたは月1曲のみ。
 - ・使用料金の上限を決めている。
 - ・隠れて電話しない。
 - ・電話とメール以外は使わない。
 - ・夜10時以降は使わない。
 - ・出所がわからない所からダウンロードしない。
 - ・登録アンケートは一切こたえない。
 - ・学校や塾の帰宅時間の連絡と限られた友人との会話のみに使用する。
 - ・夜21時以降は友だちとのメール禁止。
 - ・月2,000円以内に収めるようにし、有料サイトはNG。
 - ・他人の名前を使うようなメールはしない。
 - ・ロックはかけない。
 - ・食事中は使わない。
 - ・インターネットはしない。
 - ・金額のかかるものは親に相談してから使う。
 - ・知らない人からのメール、電話は無視する。
 - ・自分の部屋には持ち込まない。
 - ・夜は決まったところに置く。
 - ・夜11時になったら親に預ける。
 - ・使わないときは居間のテーブルの上に置いておく。親は勝手に見ても良い約束になっている。
 - ・勉強をする。家の手伝いなどをする。

問11 携帯電話を持たせている方は、携帯電話を使うときの約束についてお子さんと話し合っていますか。

小学校保護者	回答数	持たせている 79名 %
よく話している	24	30.4
たまに話す	47	59.5
話したことはない	7	8.9
未回答	1	1.3
計	79	100.0

問 1 2 .あなたのお子さんは携帯電話やインターネットを使っていていやな思いをしたことがありますか。

小学校保護者	回答数	持たせている 79名 %
ある	17	21.5
ない	39	49.4
わからない	20	25.3
未回答	3	3.8
計	79	100.0

- お子さんがいやな思いをしたことが「ある」と回答された方の主な自由記述
- ・ チェーンメールが来た。
 - ・ 知らない子からメールが届く。
 - ・ 知らない人から電話がかかってくる。
 - ・ 友だちが勝手に別の子にアドレスを教えてしまい誰かわからないアドレスで連絡があった。
 - ・ 掲示板で自分の子供が誰かの悪口を書いたように見せかけられて、嫌な思いをしたようだ。
 - ・ ストーカーにあった。
 - ・ 同級生からのHさせろのメール。(小6男子)

問 1 3 .あなたのお子さんの携帯電話にフィルタリングはしていますか。

小学校保護者	回答数	持たせている 79名 %
はい	46	58.2
いいえ	22	27.8
設定したが外した	5	6.3
よくわからない	5	6.3
未回答	1	1.3
計	79	100.0

問 1 4 . セミナー全体についての印象はいかがですか。

小学校保護者	回答数	%
良い	220	75.1
普通	52	17.7
つまらない	3	1.0
未回答	18	6.1
計	293	100.0

- 小学生保護者のセミナーの印象の主な自由記述
- ・ とても具体的でわかりやすいセミナーであった。
 - ・ 保護者と携帯電話使用の注意について子供と話をする必要があると思う。また子どもも勿論だが保護者も勉強する必要がある。
 - ・ 家にパソコンはないが家族全員が携帯を持っているため、親の知らないところでインターネットに接続してトラブルにまきこまれる可能性があることを感じました。
 - ・ 知らないことが多くてびっくりしました家で子供と話題にしようと思いました。

- ・知っているようでまだまだ怖さの理解が不十分と感じた。
- ・私たちにはなかなか分からないが、社会で子ども達の周りに問題がおきていることを知った。
- ・現状を伝えるだけでなく、対応法、心構えも教えて頂き役に立った。
- ・子どもを取り巻くネット社会がこんなに進んでいるかと驚いた。賢く使うことが必要。
- ・中学生、高校生になると持たせるつもりなので参考になった。
- ・親の方が子どもより使い方が分かっていないので、注意する必要があることが分かって良かった。
- ・子どもの目線がよくわかった。
- ・PC は今に必ず使用すると思うので、約束事をきちんと決めておかななくてはならないと思った。
- ・子供達のこれからのため、親も色々知るべきだと思った。
- ・セミナーの冊子を見ながら説明を聞いたのでよくわかった

問 1 5 .セミナーを受講して、これからすべきだと感じたことはありますか。それは何ですか。

(主な自由記述)

- ・ダメダメ言わないで、約束して携帯やインターネットを使わせるようにしたい。
- ・親子でいつも話合うことが大事だと思った。
- ・子供に危険性について話をしたいと思う。
- ・現在ネットはつないでないが今後つなぐにあたって最低限度の約束をさせ、親がいな
いときは使用させないなどルールをしっかり作ろうと思う。
- ・現在は親の管理のもとパソコンを使っていますが、子供の成長に伴い、自分ひとりで
使っていくと思うので、日頃から繰り返し利用方法について話し合いたいと思った。
- ・被害者加害者にならないよう常に家族と話し合うこと。
- ・子供とのコミュニケーションが大切。
- ・家のパソコンのフィルタリング対策を行う。
- ・子どもとルール作りをしようと思う。
- ・情報社会の環境が変化し続けているので常に子供とルールを改善していく必要がある。
- ・「知らないから」といって、今起きている事柄から目をそらさない。情報を常に新しく
しておく。
- ・子どもとずっと話をして、何かあった時には相談してくれるように雰囲気作りをした
い。
- ・まず親が知る事が大事だと思います。子供に注意やアドバイスが出来るくらいには勉
強しなくてはと思った。
- ・改めてネットの恐怖を認識した。子供にきちんと認識してもらいトラブルが発生した
ときには親に相談できる環境を作る。
- ・自分のパソコンを確認してフィルタリングされているか調べたい。

問 16 . テキストについての印象はいかがですか。

エラー! 編集中のフィールド コードからは、オブジェクトを作成できません。

- ・ 子ども達にも読ませたい。
- ・ 本当に子どもにもわかりやすい。
- ・ よく目を通したい。
- ・ わかりやすい説明や絵などで表されており参考になった。

(4) 中学校/児童生徒アンケート結果

回答者プロフィール（中学校生徒）

中学校 1 年	中学校 2 年	中学校 3 年	未回答	計
305	134	506	0	945

中学校生徒	回答数	%
男子	470	49.7
女子	440	46.6
未回答	35	3.7
計	945	100.0

問2．あなたの知っている言葉は？（複数回答あり）

中学校生徒	ブログ	ブログ	チャット	掲示板 サイト	学校裏 サイト	フィルタ リング	2ちゃんね る	出会い 系サイト	ネットゲ- ム	WWW	URL	プロトコル
男子 470名	427	293	349	350	291	293	216	360	371	177	173	31
%	90.9	62.3	74.3	74.5	61.9	62.3	46.0	76.6	78.9	37.7	36.8	6.6
女子 440名	434	401	378	381	356	271	231	396	336	174	245	25
%	98.6	91.1	85.9	86.6	80.9	61.6	52.5	90.0	76.4	39.5	55.7	5.7
男女不明 35名	25	20	24	21	21	16	14	24	20	7	11	0
計 945名	886	714	751	752	668	580	461	780	727	358	429	56
%	93.8	75.6	79.5	79.6	70.7	61.4	48.8	82.5	76.9	37.9	45.4	5.9

問3．あなたの家庭では、コンピュータやインターネットを使うことができますか。

中学校生徒	回答数	%
使うことができる	801	84.8
使うことができない	113	12.0
未回答	31	3.3
計	945	100.0

問4．家庭でコンピュータやインターネットを使うときの約束を決めていますか。

中学校生徒	回答数	使うことができる 801名 %
約束を決めている	195	24.3
約束を決めていない	601	75.0
未回答	5	0.6
計	801	100.0

問５．あなたは、家族で約束について話し合っていますか。

中学校生徒	回答数	使うことができる
よく話している	51	6.4
たまに話す	382	47.7
話したことはない	349	43.6
未回答	19	2.4
計	801	100.0

問６．あなたは携帯電話を持っていますか。

中学校生徒	回答数	%	持った学年	回答数	持っている 340名 %
持っている	340	36.0	小学校 1 年	9	2.6
			小学校 2 年	5	1.5
			小学校 3 年	27	7.9
			小学校 4 年	24	7.1
			小学校 5 年	39	11.5
			小学校 6 年	60	17.6
			中学校 1 年	112	32.9
			中学校 2 年	30	8.8
			中学校 3 年	23	6.8
			未回答	11	3.2
持っていない	595	63.0			
未回答	10	1.1			
計	945	100.0			

問７．携帯電話は何が便利ですか。持っている人は、主にどういう使い方をしていますか？

主な自由記述（中学校生徒）

- ・メール・電話。
 - 友達と情報交換。
 - 親と連絡を取るため。
 - 塾で遅くなるときの連絡。
- ・インターネットを見る。
- ・ホームページの書き込み。
- ・ブログを見る。
- ・天気予報。
- ・音楽を聴く / 音楽をダウンロードする。
- ・写真撮影。
- ・ゲーム / ゲームのダウンロード。
- ・テレビ。
- ・電卓。
- ・スケジュール帳。
- ・目覚まし・アラーム。
- ・インターネットの動画鑑賞。
- ・出会い系サイト（中３女子）。

問 8 . あなたは、携帯電話の使い方について家族で約束を決めていますか。

中学校生徒	回答数	持っている 340名 %
約束を決めている	119	35.0
約束を決めていない	212	62.4
未回答	9	2.6
計	340	100.0

問 9 . あなたは、家族で約束について話し合っていますか。

中学校生徒	回答数	持っている 340名 %
よく話している	21	6.2
たまに話す	181	53.2
話したことはない	126	37.1
未回答	12	3.5
計	340	100.0

問 1 0 . あなたは携帯電話やインターネットを使っていていやな思いをしたことがありますか。

ある	85	9.0
ない	588	62.2
わからない	165	17.5
未回答	107	11.3
計	945	100.0

○問 1 0 . で「嫌な思いをしたことがある」と回答された方の主な自由記述（中学校生徒）

- ・チェーンメールがきた。
- ・ネットに友達の悪口を書いていないのに勝手に書いたことになって部活の子全員から無視された。
- ・掲示板やブログに悪口を書かれた。 / 誹謗中傷された。
- ・掲示板をやってて、同じ学校の人に来て、本名をバラされたりした。
- ・初対面で変なことを言われた（書かれた）
- ・迷惑メールが大量にきた。
- ・ワンクリック請求にあった。
- ・メールで違う意味に取られてしまった。
- ・友達とケンカして相手を傷つけた。
- ・有害サイトの紹介メールがきた。
- ・自分のホームページアドレスが流されて荒らされ、炎上した。
- ・自分のメアドを知らない人に教えられていて変なメールがきた。 / メアドを勝手に教えられて知らない人から「写メ送って」としつこくメールがきた。
- ・架空請求があった。
- ・電話やメールをし過ぎて請求金額が増えた。
- ・広告がとても、うっとうしいです。
- ・出会い系サイトから 1 日 50 通くらいメールが来ている。500 万振込んだので使ってくださいとか、女の人からメールとか。
- ・自分になりすました人がいた。 / 私のパソコンのメールでチェーンメールを回された。

- ・ゲームの裏技を使ったら、セーブデータが消えた。
- ・画面に突然怖い顔が出た。その後ウィルスにかかった。

問 1 1 . フィルタリングは設定していますか。

中学校生徒	回答数	%
設定している	145	15.3
設定していない	202	21.4
設定していたが外した	15	1.6
よく分からない	315	
未回答	268	28.4
計	945	100.0

問 1 2 . セミナーは楽しかったですか。

中学校生徒	回答数	%
とても楽しかった	225	23.8
まあまあ楽しかった	607	64.2
つまらなかった	98	10.4
未回答	15	1.6
計	945	100.0

問 1 3 . セミナーは、携帯電話やインターネットの安全な使い方に役立つと思いましたか。

中学校生徒	回答数	%
思った	779	82.4
思わない	37	3.9
よくわからない	107	11.3
未回答	22	2.3
計	945	100.0

問 1 4 . 困ったときは、親や先生に相談しようと思いましたか。

中学校生徒	回答数	%
思った	641	67.8
思わない	107	11.3
よくわからない	177	18.7
未回答	20	2.1
計	945	100.0

問 1 5 . セミナーを聞いて、これからやってみようと思ったことはありますか。それは何ですか。

(中学校生徒)

- ・安全な使い方を新しく考え直したい。
- ・チェーンメールなどはスルーすること。
- ・家族と携帯電話の使い方について話し合いをしようと思った。
- ・約束を家族と決めて、それを実行する。
- ・ルールを守って使っていきたい。
- ・メールの時間を決める。
- ・パソコンを利用する時は時間を決めてやる。
- ・プロフなどに書き込んだりしない。

- ・困った時は絶対先生に相談しようと思った。
- ・親ときちんと話し合いをして、怪しいサイトやメールには絶対に手を出さないようにしたい。
- ・ネットの使い方を再確認する。
- ・困っている人がいたら助けたい。
- ・フィルタリングの設定をやっておきたい。
- ・裏サイトをやらない方がいいと思った。
- ・コンピュータやケータイの便利さがあるとともに危ないことも考えないといけないと思った。
- ・携帯を買うことになったら、今日の講演を思い出して注意して使う。
- ・出会い系サイトに気をつける（使わない）。
- ・メアド登録はむやみにしない。
- ・インターネットを使う時は、悪口や人が傷つくようなことは書かないようにする知らない相手のメールを見ないようにするなど。
- ・個人情報は簡単に書き込まない。
- ・今、家にあるパソコンはどのような設定（フィルタリング）になっているかななどを調べてみようと思った。
- ・知らない人からのメールは開かないということがわかった。

問１６．テキスト（冊子）はわかりやすかったですか。

中学校生徒	回答数	945名	%
ちょうどよい	754		79.8
むずかしい	25		2.6
かんたんすぎる	78		8.3
よくわからない	62		6.6
未回答	26		2.8
計	945		100.0

(5) 中学校/保護者アンケート結果

プロフィール（中学校保護者）

年齢

回答者数	人	内訳		人
20代	0	男性 33名	20代	0
30代	17		30代	4
40代	90		40代	18
50代	13		50代	10
60代	0		60代	0
未回答	1		未回答	1
		女性 83名	20代	0
			30代	13
			40代	68
			50代	2
			60代	0
			未回答	0
		男女不明		5
回答者計	121	回答者計		121

今回セミナーに出席されたあなたのお子さんの学年（中学校保護者）

学年	中学校
1年	16
2年	21
3年	84
未回答	0
合計	121

今回セミナーに出席されたあなたのお子さんの性別（中学校保護者）

学年	中学校
男子	56
女子	48
未回答	17
合計	121

問3．あなたの知っている言葉は？（年齢別／複数回答あり）

中学校保護者	ブログ	ブログ	チャット	掲示板 サイト	学校裏 サイト	フィルタ リング	2ちゃん ねる	出会い 系サイト	ネットゲ ーム	WWW	URL	プロトコ ル
20代 0名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代 17名	17	9	17	16	11	14	13	17	16	12	13	3
%	100.0	52.9	100.0	94.1	64.7	82.4	76.5	100.0	94.1	70.6	76.5	17.6
40代 90名	90	53	83	70	70	69	71	86	74	49	72	19
%	100.0	58.9	92.2	77.8	77.8	76.7	78.9	95.6	82.2	54.4	80.0	21.1
50代 13名	9	2	5	8	6	8	3	8	12	4	3	2
%	69.2	15.4	38.5	61.5	46.2	61.5	23.1	61.5	92.3	30.8	23.1	15.4
60代 0名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢不明 1名	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
計 121名	117	64	105	95	87	91	87	112	102	65	88	24
%	96.7	52.9	86.8	78.5	71.9	75.2	71.9	92.6	84.3	53.7	72.7	19.8

問3．あなたの知っている言葉は？（男女別／複数回答あり）

男子中学生の保護者

男子 中学校保護者	ブログ	ブログ	チャット	掲示板 サイト	学校裏 サイト	フィルタ リング	2ちゃん ね	出会い 系サイト	ネットゲ ーム	WWW	URL	プロトコ ル
男性 17名	17	9	16	16	13	16	13	17	15	12	13	9
%	100.0	52.9	94.1	94.1	76.5	94.1	76.5	100.0	88.2	70.6	76.5	52.9
女性 38名	36	20	31	29	31	28	22	37	34	21	24	4
%	94.7	52.6	81.6	76.3	81.6	73.7	57.9	97.4	89.5	55.3	63.2	10.5
年齢不明 1名	1	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0
計 56名	54	29	47	46	44	45	36	55	49	33	37	13
%	96.4	51.8	83.9	82.1	78.6	80.4	64.3	98.2	87.5	58.9	66.1	23.2

女子中学生の保護者

女子 中学校保護者	ブログ	ブログ	チャット	掲示板 サイト	学校裏 サイト	フィルタ リング	2ちゃん ね	出会い 系サイト	ネットゲ ーム	WWW	URL	プロトコ ル
男性 12名	9	3	8	10	4	7	6	10	7	8	7	2
%	75.0	25.0	66.7	83.3	33.3	58.3	50.0	83.3	58.3	66.7	58.3	16.7
女性 34名	33	21	32	28	23	29	23	33	27	18	28	6
%	97.1	61.8	94.1	82.4	67.6	85.3	67.6	97.1	79.4	52.9	82.4	17.6
年齢不明 2名	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	0	0
計 48名	44	26	42	40	29	38	31	45	36	27	35	8
%	91.7	54.2	87.5	83.3	60.4	79.2	64.6	93.8	75.0	56.3	72.9	16.7

問4．あなたの家庭では、お子さんがコンピュータやインターネットを使うことができる環境がありますか。

中学校保護者	回答数	%
使うことができる	109	90.1
使うことができない	10	8.3
わからない	1	0.8
未回答	1	0.8
計	121	100.0

問5．家庭でコンピュータやインターネットを使うときの約束を決めていますか。

中学校保護者	回答数	使うことができる
約束を決めている	53	48.6
約束を決めていない	50	45.9
未回答	6	5.5
計	109	100.0

問6．あなたは、コンピュータやインターネットを使うときの約束についてお子さんと話合っていますか。

中学校保護者	回答数	使うことができる 109名 %
よく話している	9	8.3
たまに話す	79	72.5
話したことはない	20	18.3
未回答	1	0.9
計	109	100.0

問 7 . あなたのお子さんに携帯電話を持たせていますか。

中学校保護者	回答数	%	持った学年	回答数	持たせている 43名 %
持たせている	43	35.5	小学校 1 年	0	0.0
			小学校 2 年	0	0.0
			小学校 3 年	1	2.3
			小学校 4 年	2	4.7
			小学校 5 年	5	11.6
			小学校 6 年	2	4.7
			中学校 1 年	14	32.6
			中学校 2 年	6	14.0
			中学校 3 年	9	20.9
			未回答	4	9.3
持たせていない	75	62.0			
未回答	3	2.5			
計	121	100.0			

問 8 . 携帯電話を持たせている方は、持たせている目的・理由は何ですか。の主な自由記述

- ・塾の送迎のため。
- ・安全のため。
- ・土日に習い事で親子別行動のときの連絡手段。
- ・スポーツクラブの練習で連絡を取るため。
- ・友達とのコミュニケーションの 1 つの手段。
- ・本人が持ちたがった。
- ・家族でメールがしたいから。
- ・1 人にさせることがあるので。
- ・自立のため。

問 9 . 携帯電話を持たせている方は、あなたのお子さん一人あたりの使用料はどのくらいですか。

中学校保護者 携帯電話使用料		持たせている 43名 %
1,000 ~ 4,000	7	20.0
5000 ~ 6000	10	28.6
7,000	3	8.6
8,000	3	8.6
9,000	2	5.7
10000 ~ 13000	5	14.3
未回答	13	37.1
計	43	122.9

問 10 . 携帯電話を持たせている方は、使い方について家族で約束を決めていますか。

中学校保護者	回答数	持たせている 43名 %
使い方を決めている	25	58.1
使い方を決めていない	17	39.5
未回答	1	2.3
計	43	100.0

○「使い方を決めている」と回答された方の主な自由記述

- ・定額料金を超えない。
- ・知らない人にメールしない。
- ・迷惑な時間帯に電話しない。
- ・覚えのないメールや電話は無視する。
- ・ネットを使うのはパソコンで。
- ・人に携帯番号やメルアドを勝手に教えない。
- ・インターネットはやらない。
- ・勉強・食事のときは使わない。
- ・メールのやり取りに時間をかけない。勉強中は電源OFF。
- ・学校へは絶対に持っていない。
- ・メールで人の悪口などを言わない。
- ・通話は自宅電話ですること。
- ・パケット代注意。

問 1 1 .携帯電話を持たせている方は、携帯電話を使うときの約束についてお子さんと話し合っていますか。

中学校保護者	回答数	持たせている 43名 %
よく話している	8	18.6
たまに話す	30	69.8
話したことはない	4	9.3
未回答	1	2.3
計	43	100.0

問 1 2 .あなたのお子さんは携帯電話やインターネットを使っていていやな思いをしたことがありますか。

中学校保護者	回答数	121名 %
ある	17	14.0
ない	59	48.8
わからない	27	22.3
未回答	18	14.9
計	121	100.0

○お子さんがいやな思いをしたことが「ある」と回答された方の主な自由記述

- ・チェーンメールがきた。
- ・何度もワン切りされていた。
- ・悪口を書かれた。
- ・高額請求がきた。
- ・お金を請求されて払ったことがある。
- ・ゲームサイトの勧誘にのった（知らずに通話料UP）。
- ・姉が携帯に依存していること。
- ・カード交換で騙された。

- ・ブログばかりしていて、時間がダラダラとして言うことをきかない。
- ・プロフに顔写真を掲載された。
- ・学校の目立つ友達の名前を教えたら教えた相手の子達が学校へきた。

問 1 3 . 子どもの携帯にフィルタリングを設定していますか。

中学校保護者	回答数	%
設定している	35	81.4
設定していない	4	9.3
設定していたが外した	2	4.7
よくわからない	1	2.3
未回答	1	2.3
計	43	100.0

問 1 4 . セミナー全体についての印象はいかがですか。

エラー! 編集集中のフィールド コードからは、オブジェクトを作成できません。

○中学生保護者のセミナーの印象の主な自由記述

- ・どうして親がうるさく言うのか、理由をきちんと説明してわかってもらうための話し合いが必要。
- ・中学生にもわかりやすい内容であった。
- ・対応の仕方など知らない事があり、わかりやすくて良かった。
- ・知っているようで知らないことが多くあった。丁寧でわかりやすかった。
- ・ネット社会での児童(高校生での)の被害が多いことに驚きました。
- ・自身の使い方も含め、考えるよい機会だった。
- ・親世代が経験しなかった事なので、親に対してもPRが必要。
- ・メールの実例を見せていただいて危険な点に気づかされた。

問 1 5 . セミナーを受講して、これからすべきだと感じたことはありますか。それは何ですか
(主な自由記述)

- ・最初にきちんと子供と話すべきだと思った。
- ・家族でしっかりルールを決めたいと思った。
- ・子供にネット犯罪等、犯罪が潜んでいることを知っている限り教えたいと思う。
- ・知らない事ばかりでまず大人が知識を得ないといけないと思った。
- ・不快なメールなどでも必ず相手がわかると知って少し安心できた。
- ・もう一度家庭でのルールを確認したほうがいいと思う。
- ・判断をする際、やはり誰かに相談することは大切なことと思った。
- ・ネット上では自己責任が必要だということを教えていかなければならないなと思った。
- ・子供たちがどういうことが危険であるか指導していく必要があると思った。
- ・携帯を持たせるときはフィルタリングしたいと思う。

- ・パソコンを使用しているので制限したほうが良いと思った。
- ・他人に迷惑をかけていないか振り返ることが出来た。

問 16 . テキストについての印象はいかがですか。

中学生保護者	回答数	%
良い	91	75.2
普通	19	15.7
つまらない	3	2.5
未回答	8	6.6
計	121	100.0

- ・わかりやすい。
- ・子供との話し合いの材料にさせていただきたい。
- ・絵やグラフが分かりやすい。
- ・簡潔でわかりやすい。
- ・相談窓口があることを子供に知ってもらいたい。本当に問題にぶつかっても慌てずに対応できると思う。
- ・実例を載せてあるのでもう 1 度よく読んでみようと思う。

(6) 小学校校長会セミナーアンケート結果

プロフィール（小学校校長会）

年齢

回答者数	人	内訳	年代	人
1年目	5	男性 26名	1年目	3
2年目	9		2年目	5
3～5年目	19		3～5年目	10
6～7年目	6		6～7年目	6
10年以上	3		10年以上	2
未回答	0	女性 13名	1年目	2
			2年目	4
			3～5年目	6
			6～7年目	0
			10年以上	1
		男女不明		3
回答者計	42	回答者計		42

職名（校長・副校長・教頭等）を記入してください。

回答者数	人	職名（校長・副校長・教頭等）を記入してください。
1年目	5	校長 42
2年目	9	教頭 0
3～5年目	19	副校長 0
6～7年目	6	その他 0
10年以上	3	
未回答	0	
回答者計	42	計 42

問3．あなたの知っている言葉は？（年齢別／複数回答あり）

小学校校長会	ブログ	ブログ	チャット	掲示板 サイト	学校裏 サイト	フィルタ リング	2チャンネル	出会い 系サイト	ネットゲ- ム	WWW	URL	ブログ
1年目 5名	5	2	5	5	5	4	2	3	2	1	2	1
%	100.0	40.0	100.0	100.0	100.0	80.0	40.0	60.0	40.0	20.0	40.0	20.0
2年目 9名	8	1	8	4	8	6	7	9	7	3	4	1
%	88.9	11.1	88.9	44.4	88.9	66.7	77.8	100.0	77.8	33.3	44.4	11.1
3～5年目19名	19	7	19	19	18	19	12	19	14	7	10	3
%	100.0	36.8	100.0	100.0	94.7	100.0	63.2	100.0	73.7	36.8	52.6	15.8
6～7年目 6名	5	1	6	3	5	5	3	6	4	3	2	0
%	83.3	16.7	100.0	50.0	83.3	83.3	50.0	100.0	66.7	50.0	33.3	0.0
10年以上 3名	3	1	3	3	2	3	3	2	2	2	3	2
%	100.0	33.3	100.0	100.0	66.7	100.0	100.0	66.7	66.7	66.7	100.0	66.7
計 42名	40	12	41	34	38	37	27	39	29	16	21	7
%	95.2	4.1	14.0	11.6	13.0	12.6	9.2	13.3	9.9	5.5	7.2	2.4

問４．あなたの学校では、お子さんがコンピュータやインターネットを使うことができる環境がありますか。

小学校校長	回答数	%
使うことができる	5	11.9
使うことができない	10	23.8
一定条件下で使える	27	64.3
未回答	0	0.0
計	42	100.0

問５．学校でコンピュータやインターネットを使うときの約束を決めていますか。

小学校校長	回答数	%
約束を決めている	28	66.7
約束を決めていない	7	16.7
未回答	7	16.7
計	42	100.0

問６．あなたの学校では、在任中、情報モラル教育研修をこれまでどの程度行った経験がありますか。

小学校校長	回答数	%
3回以上行っている	0	0.0
1,2回実施したことがある	26	61.9
実施したことはない	15	35.7
無回答	1	2.4
計	42	100.0

問７．あなたの学校では、児童生徒に携帯電話の持ち込みを認めていますか。

小学校校長	回答数	%
認めている	0	0.0
認めていない	42	100.0
未回答	0	0.0
計	42	100.0

問８．携帯電話の持ち込みを認めている学校は、認めている理由は何ですか、の主な自由記述。

・「認めていない」ので回答なし。

問 9 . あなたの学校の携帯電話所有率は、最上級学年で、何パーセントくらいだと思いますか。

携帯電話保有率		家庭で持たせている 児童数
10%代	5	11.9
20%代	12	28.6
30%代	17	40.5
40%代	3	7.1
50%代	2	4.8
60%代	1	2.4
70%代	0	0.0
80%以上	0	0.0
未回答	2	4.8
計	42	100.0

問 10 . 携帯電話の持ち込みを認めている学校は、使い方・許可条件について規則を決めていますか。

・「認めていない」ため回答なし。

問 11 . 携帯電話に関する規則について、児童生徒との話し合いの場を設けていますか。

小学校校長	回答数	%
設けている	0	0.0
たまに設ける	14	33.3
設けたことはない	25	59.5
未回答	3	7.1
計	42	100.0

問 12 . あなたの学校では携帯電話やインターネットによるいじめの問題などの問題、犯罪被害等がありますか。

エラー! 編集集中のフィールド コードからは、オブジェクトを作成できません。

- 「ある」と回答された方の主な自由記述
 - ・ ひわいな内容のメール。
 - ・ 相手に対するいやがらせ（使ってはいけないことば）

問 1 3 .携帯電話のフィルタリング設定等、情報モラルに関して保護者に啓発する行事をおこなっていますか。

小学校校長	回答数	%
行っている	10	23.8
行っていない	21	50.0
行う予定	8	19.0
よくわからない	2	4.8
未回答	1	2.4
計	42	100.0

問 1 4 . セミナー全体についての印象はいかがですか。

小学校校長	回答数	%
良い	41	97.6
普通	1	2.4
つまらない	0	0.0
未回答	0	0.0
計	42	100.0

○自由記述

- ・具体的でわかりやすかった

問 1 5 .セミナーを受講して、これからすべきだと感じたことはありますか。それは何ですか。

自由記述

- ・校内での職員研修を実施したい。
- ・校内研修できるだけ早く実施したい。
- ・研修プログラムの勉強。
- ・保護者へもっと啓発したい。
- ・保護者との連携。
- ・情報モラル教育に実施しなければならないこと。
- ・教育計画に情報モラル教育をきっちり入れたい。
- ・保護者と子供への学習、教師への研修が必要だと感じた。
- ・裏サイト等学校として常に気をつけていかないと感じました。

問 1 6 . テキストについての印象はいかがでしたか。

小学校校長	回答数	%
良い	40	95.2
普通	2	4.8
要改善	0	0.0
未回答	0	0.0
計	42	100.0

○自由記述

- ・ぜひ研修会等で使いたい。
- ・カラフル、具体的でとてもよいです。

「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」実施報告書

発行・著作 財団法人コンピュータ教育開発センター

〒108-0072 東京都港区白金1丁目2-7番6号

TEL 03-5423-5911（代表）

FAX 03-5423-5916

<http://www.cec.or.jp/CEC/>

編集協力 株式会社クレステック

禁無断転載



Center for Educational Computing